

有害物等一時保管倉庫建設工事

伊南行政組合

図面目録

図面番号	図面名称	縮尺
1	特記仕様書(1)	Not to scale
2	特記仕様書(2)	Not to scale
3	特記仕様書(3)	Not to scale
4	特記仕様書(4)	Not to scale
5	特記仕様書(5)	Not to scale
6	特記仕様書(6)	Not to scale
7	特記仕様書(7)	Not to scale
8	特記仕様書(8)	Not to scale
9	特記仕様書(9)	Not to scale
10	特記仕様書(10)	Not to scale
11	特記仕様書(11)	Not to scale
12	案内図・求積図・面積計算書	1/300・1/600
13	配置図	1/250
14	仕上げ表・平面図・立面図	1/100
15	矩計図	1/30
16	構造設計特記仕様	Not to scale
17	鉄筋コンクリート構造配筋標準図	Not to scale
18	地盤調査説明図	Not to scale
19	基礎伏図・詳細図	1/100・1/20
20	部材断面詳細図	1/10
21	造成図	1/250

有害物等一時保管倉庫建設工事 建築工事仕様書

I 工事概要

1. 工事場所	長野県駒ヶ根市赤穂16397-36																																																																																								
2. 敷地面積 (㎡)																																																																																									
3. 工事種目																																																																																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>建物別</th> <th>種別</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>梁間(m)</th> <th>桁行(m)</th> <th>建築面積(㎡)</th> <th>延面積(㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有害物等一時保管倉庫</td> <td>新築</td> <td>LS</td> <td>1</td> <td>5.74</td> <td>12.14</td> <td>69.68</td> <td>69.68</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	建物別	種別	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)	有害物等一時保管倉庫	新築	LS	1	5.74	12.14	69.68	69.68																																																																									
建物別	種別	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)																																																																																		
有害物等一時保管倉庫	新築	LS	1	5.74	12.14	69.68	69.68																																																																																		

II 建築工事仕様（構造関係を除く）

- 共通仕様
 - 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版」（以下「標仕」という。）による。
 - 標準仕様書で、「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督職員と協議すること。
 - 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。
- 特記仕様
 - 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。
 - 特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。
 - 特記事項に記載の(. . .)内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
 - 特記事項に記載の(別 . . .)は(5.3.7)による別図「各部筋筋」の当該項目を示す。
 - 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。

章	項目	特記事項
1	一般共通事項	
	①適用基準等	○ 建築工事標準詳細図 ○ 敷地調査共通仕様書 ○ 建築構造設計基準 ○ 工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編 ○ 長野県建設部施設課監修 ・ 公共建築改修工事標準仕様書 ・ 木造建築工事標準仕様書 ○ 建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編） ・ 長野県建設リサイクル推進指針
	②工事実績情報の登録	※ 適用する ○ 適用しない (1.1.4)
	3. 適用区分	建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による ※ 風速 (Vo =) ※ 地表面粗度区分 (I ・ II ・ III ・ IV) ※ 積雪区分 告示第1455号 別表 () (1.2.2)
	④電気保安技術者	※ 適用する ○ 適用しない (1.3.3)
	⑤施工条件明示項目	・ (1.3.5)
	⑥発生材の処理等	※ 別紙解体工事仕様書による ・ 構外搬出適正処理 ○ 監督員指示による また、収集・運搬・中間処理・最終処分等の処理について予め監督職員と協議すること。 ○ 引渡しを要するもの 監督員との協議による ○ 再生資源の利用を図るもの 監督員との協議による (1.3.11)
	7. 環境への配慮	化学物質を放散させる建築材料等 (1.4.1) (1) 本工事の建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びブチレンを放散しない又は放散が極めて少ない

⑧建築材料等

材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジエチル及びフタル酸ジエチルヘキシル等を含むし難揮発性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。

④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブチレンを放散しないか、放散が極めて少ない材料を使用したものとする。

規 制 対 象 外

(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。

① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

第 三 種

- JIS及びJASの F☆☆☆規格品
 - 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
 - 旧JISのEo規格品
 - 旧JISのFco規格品
- 建築材料等 (1.4.2)
- 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者等が記載されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。なお、JIS及びJASの表示のない材料及び製造業者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。
- 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
 - 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
 - 安定的な供給が可能であること
 - 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
 - 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
 - 販売、保守等の営業体制が整えられていること
- これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。
- なお、（一社）公共建築協会が発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」に指定された材料については上記(1)～(6)に該当するものとする。
- また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員の承諾を受けた材料とする。

⑨特別な材料の工法

標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品所の指定する工法による。

※ 適用する（一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。） (1.5.2)
・ 適用しない

10. 技能士

適用工事種別	技能検定作業
仮設工事	・ とび作業
鉄筋工事	・ 鉄筋組立作業
コンクリート工事	・ 型枠施工 ・ コンクリート圧送工作業
鉄骨工事	・ 構造物鉄工作業 ・ とび作業
コンクリートブロックALC等 枠組壁工法	・ コンクリートブロック工作業 ・ エルスターブロック工作業
防水工事	・ アスファルト防水工作業 ・ ウレタン系塗膜防水工作業 ・ アクリル系塗膜防水工作業 ・ 合成ゴムシート防水工作業 ・ 塩化ビニルシート防水工作業 ・ セメント系防水工作業 ・ シリコン防水工作業 ・ 改質アスファルトシート防水工作業 ・ FRP防水工作業
石工事	・ 石張り作業
タイル工事	・ タイル張り作業
木工事	・ 大工工作業
屋根及びといた工事	・ 内外装板金作業 ・ かわらぶき ・ スレート工作業
金属工事	・ 鋼製下地工作業 ・ 内外装板金作業
左官工事	・ 左官作業
建具工事	・ 建具製作 ・ 珪藻土工作業 ・ ガラス工作業 ・ 自動ドア工作業
カーテンウォール工事	・ 金属製カーテンウォール工作業 ・ 珪藻土工作業 ・ ガラス工作業
塗装工事	・ 建築塗装作業
内装工事	・ プラスチック系床仕上げ工作業 ・ カーペット系床仕上げ工作業 ・ ガード仕上げ工作業 ・ 壁張作業
排水工事	・ 建築配管作業
舗装工事	・ 溶融塩化カルシウム系工作業 ・ 加熱インタリマーカ工作業
植栽工事	・ 造園
その他	・ 量製作 ・ 家具製作 ・ 樹脂接着剤注入施工

11. 化学物質の濃度測定

測定方法 ※ バック法（拡散法） ・ フラグ法（吸引法） (1.5.9)

検査機関
※ 環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承諾した者

測定物質
※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キシレン ※ エチルベンゼン ※ n-ブチルベンゼン ※ スチレン

測定箇所(室)
計 個所

⑫完成図等

※ 試料採取に当たっては、監督員又は監督員が指定する者が立ち会いの下に行う。

ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	n-ブチルベンゼン	スチレン	備考
0.08ppm	0.07ppm	0.20ppm	0.88ppm	0.04ppm	0.05ppm	

※ 作成する (1.7.1～1.7.3)(表1.7.1)

※ 完成図（※ 設計図書で示したもの全て ・ 標仕表1.7.2による ○ 監督員の指示による）
作成方法 ※ 原図 用紙（※ トレシングペーパー-A1 ○ 普通紙）
作図方法（※ CADで作成し出力 ・ ）

※ 製本（原図の白焼き、見開きA3版（1部））
※ CADデータ（※ CD-R（2部） ・ ）
※ 保全に関する資料(2部)

下記のを監督職員に提出する。原版は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	部数	画素数、画質等
○ カラー印画紙キャビネ版 アルバム綴じ	外部（ 2 ）内部（ 2 ） 外観正面（ ）	※ 2 ・	4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの
・ 木製パネル 半切（324×400mm）	外部（ ）内部（ ）	※ 1 ・	
⊗ 電子データ（JPEGフルカラー）	外部（ 4 ）内部（ 4 ）	※ 2 ・	

アルバムは、ファイル綴り黒表紙金文字六号、サイズは A 4 版 H920×D900 程度とする。
電子データは、1280×960ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質とし、CD-Rにて提出とする。

撮影業者 ※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者
○ 監督職員の承諾する撮影業者

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

14. 設備工事との取合い

⑮設計GL

※ 図示 ・ 設計GL=現状GL

2

仮設工事

①足場その他

足場を設ける場合、「標仕」2.2.4(b)によるほか、設置においては、「手すり先行方法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。(2.2.4)

②監督員事務所

※ 設ける ○ 設けない (2.3.1)
規模 ※ 10㎡程度 ・ 20㎡程度 ・ () ㎡程度

③工事用水

構内既存の施設 ・ 利用できる（※ 有償 ・ 無償） ※ 利用できない (2.3.1)

④工事用電力

構内既存の施設 ・ 利用できる（※ 有償 ・ 無償） ※ 利用できない (2.3.1)

3

土工事

①埋戻し及び盛土

埋戻し及び盛土の種類 (3.2.3)(表3.2.1)
・ A 種 適用場所 ()
・ B 種 適用場所 ()
○ C 種 適用場所 (地盤・基礎・外構)土質 (建設適正土) 受渡場所 (成行)
・ D 種 (細粒分 (75µm以下) の含有率 (重量百分率) の上限を50%未満とする。)
適用場所 ()
六価クロム溶出試験 ・ 行う (現場説明書による) ・ 行わない

②建設発生土の処理

※ 構外搬出適切処理 (3.2.5)
・ 構内の造成に利用 ○ 構内の指定場所に堆積 ・ 構内の指定範囲に敷きならし

3. 山留めの残置

存置範囲 (※図示 ・) (3.3.3)

4

地業工事

5

鉄筋工事

6

コンクリート工事

7

鉄骨工事

特記仕様書（構造関係）による

伊南行政組合

図面名称 特記仕様書（1）

事務局長	事務局次長	課 長	課長補佐	係 長	担当者	副担当者	年月日	図面番号
							H29・10・23	1

章	項目	特記事項																																																			
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1. 補強コンクリートブロック造	<p>ブロックの種類 (8.2.2、5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">断面形状及び圧縮強さによる区分</th> <th rowspan="2">正味厚さ (mm)</th> <th colspan="2">寸法呼び寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">化粧の有無</th> <th rowspan="2">適用箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 空洞ブロック-16</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無</td> <td>・有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 型枠状ブロック-20</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無</td> <td>・有</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無</td> <td>・有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>各部の配筋 ※ 図示</p>	断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	寸法呼び寸法 (mm)		化粧の有無	適用箇所	備考	長さ	高さ	※ 空洞ブロック-16				・無	・有		・ 型枠状ブロック-20				・無	・有						・無	・有																						
	断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)			寸法呼び寸法 (mm)					化粧の有無	適用箇所	備考																																									
			長さ	高さ																																																	
	※ 空洞ブロック-16				・無	・有																																															
・ 型枠状ブロック-20				・無	・有																																																
				・無	・有																																																
2. コンクリートブロック 帳壁及び壁	<p>ブロックの種類 (8.3.2、3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">断面形状及び圧縮強さによる区分</th> <th rowspan="2">正味厚さ (mm)</th> <th colspan="2">寸法呼び寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">化粧の有無</th> <th rowspan="2">(表8.3.1)以外の適用箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 空洞ブロック-08</td> <td>100</td> <td>390</td> <td>190</td> <td>・無</td> <td>・有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 空洞ブロック-16</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無</td> <td>・有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 型枠状ブロック-20</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無</td> <td>・有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>各部の配筋 ※ 図示</p>	断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	寸法呼び寸法 (mm)		化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考	長さ	高さ	・ 空洞ブロック-08	100	390	190	・無	・有		・ 空洞ブロック-16				・無	・有		・ 型枠状ブロック-20				・無	・有																							
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)			寸法呼び寸法 (mm)					化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考																																										
		長さ	高さ																																																		
・ 空洞ブロック-08	100	390	190	・無	・有																																																
・ 空洞ブロック-16				・無	・有																																																
・ 型枠状ブロック-20				・無	・有																																																
3. ALCパネル	<p>(8.4.2～5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パネルの種類</th> <th>単位荷重 (N/m²)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>表面加工</th> <th>構法の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 外壁パネル</td> <td></td> <td>・ 100</td> <td></td> <td>有 (1) 時間</td> <td>・ 平</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 間仕切壁パネル</td> <td></td> <td>・ 100</td> <td></td> <td>・ 有 (1) 時間</td> <td>・ 平</td> <td>・ C種 ・ D種 ・ E種</td> </tr> <tr> <td>・ 屋根パネル</td> <td></td> <td>・ 100</td> <td></td> <td>有 (0.5) 時間</td> <td>平</td> <td>F種</td> </tr> <tr> <td>・ 床パネル</td> <td></td> <td>・ 100</td> <td></td> <td>・ 有 () 時間</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・ 適用しない 外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅 (mm) ・ 20 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する ・ 適用しない</p>	パネルの種類	単位荷重 (N/m ²)	厚さ (mm)	長さ (mm)	耐火性能	表面加工	構法の種別	・ 外壁パネル		・ 100		有 (1) 時間	・ 平	・ A種 ・ B種	・ 間仕切壁パネル		・ 100		・ 有 (1) 時間	・ 平	・ C種 ・ D種 ・ E種	・ 屋根パネル		・ 100		有 (0.5) 時間	平	F種	・ 床パネル		・ 100		・ 有 () 時間																			
パネルの種類	単位荷重 (N/m ²)	厚さ (mm)	長さ (mm)	耐火性能	表面加工	構法の種別																																															
・ 外壁パネル		・ 100		有 (1) 時間	・ 平	・ A種 ・ B種																																															
・ 間仕切壁パネル		・ 100		・ 有 (1) 時間	・ 平	・ C種 ・ D種 ・ E種																																															
・ 屋根パネル		・ 100		有 (0.5) 時間	平	F種																																															
・ 床パネル		・ 100		・ 有 () 時間																																																	
4. 押出成形セメント板	<p>(8.5.2～5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パネルの種類</th> <th>表面形状</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> <th>工法の種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・ 外壁パネル</td> <td>・ F (フランク種)</td> <td>・ 50 ・ 60</td> <td></td> <td>・ A 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ D (デザイン種)</td> <td>・ 50 ・ 60</td> <td>600</td> <td>・ B 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ T (タイムス種)</td> <td>60</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ 間仕切壁パネル</td> <td>・ F (フランク種)</td> <td>・ 50 ・ 60</td> <td></td> <td>・ B 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ D (デザイン種)</td> <td>・ 50 ・ 60</td> <td>600</td> <td>・ C 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ T (タイムス種)</td> <td>60</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・ 適用しない パネルの相互の目地幅 (mm) ・ 図示 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅 (mm) ※15 やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">開口の大きさ</th> <th rowspan="2">切断後のパネルの残り部分の幅</th> </tr> <tr> <th>短辺</th> <th>長辺</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パネルに開口を設ける場合</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>パネルを切り欠く場合</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table>	パネルの種類	表面形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考	・ 外壁パネル	・ F (フランク種)	・ 50 ・ 60		・ A 種		・ D (デザイン種)	・ 50 ・ 60	600	・ B 種		・ T (タイムス種)	60				・ 間仕切壁パネル	・ F (フランク種)	・ 50 ・ 60		・ B 種		・ D (デザイン種)	・ 50 ・ 60	600	・ C 種		・ T (タイムス種)	60					開口の大きさ		切断後のパネルの残り部分の幅	短辺	長辺	パネルに開口を設ける場合	・ 図示	・ 図示	・ 図示	パネルを切り欠く場合	・ 図示	・ 図示	・ 図示
パネルの種類	表面形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考																																																
・ 外壁パネル	・ F (フランク種)	・ 50 ・ 60		・ A 種																																																	
	・ D (デザイン種)	・ 50 ・ 60	600	・ B 種																																																	
	・ T (タイムス種)	60																																																			
・ 間仕切壁パネル	・ F (フランク種)	・ 50 ・ 60		・ B 種																																																	
	・ D (デザイン種)	・ 50 ・ 60	600	・ C 種																																																	
	・ T (タイムス種)	60																																																			
	開口の大きさ		切断後のパネルの残り部分の幅																																																		
	短辺	長辺																																																			
パネルに開口を設ける場合	・ 図示	・ 図示	・ 図示																																																		
パネルを切り欠く場合	・ 図示	・ 図示	・ 図示																																																		

<p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による</p> <p>平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上</p> <p>・ 乾式保護材 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による</p> <p>屋根露出防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率 防水の適用</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ D-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ D-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ D-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ D-4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ D1-1</td> <td></td> <td>(材質) ※JIS A 9521 による硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 1号若しくは 2号で、透湿係数を除く規格に適合するもの又は JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2種 1号若しくは 2号で透湿係数を除く規格に適合するもの (厚さ) ・ 25mm</td> <td>・ 製造所の指定による</td> <td>・ 製造所の指定による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ D1-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ E-1</td> <td></td> <td>・ E-2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>保護層 ・ 設ける (※ 図示) ・ 設けない</p> <p>防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ ※標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種 押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 防水層の下地のモルタル塗り ・ 適用する (施工範囲 ・ 図示) ・ 適用しない</p> <p>屋根排水溝 ※ 図示 (9.3.2、3) (表 9.3.1～3)</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>防湿層</th> <th>高日射反射率 防水の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ AS-T1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AS-T2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AS-T3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AS-T4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AS-J1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AS1-T1</td> <td></td> <td>(材質) ※JIS A 9521 による硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 1号若しくは 2号で、透湿係数を除く規格に適合するもの又は JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2種 1号若しくは 2号で透湿係数を除く規格に適合するもの (厚さ) ・ 25mm</td> <td>・ 設ける (改質アスファルト製造所の仕様による)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AS1-J1</td> <td></td> <td></td> <td>・ 設けない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による 押え金物 ※改質アスファルト製造所の仕様による (9.4.2～4) (表 9.4.1～3)</p> <p>種別 施工箇所 絶縁用シートの材質 断熱材 仕上塗料 高日射反射率 防水の適用</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>・ S-F1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ カラー・シム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ S-F2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ S-M1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ カラー・シム</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率 防水の適用	種類	使用量	・ D-1						・ D-2						・ D-3						・ D-4						・ D1-1		(材質) ※JIS A 9521 による硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 1号若しくは 2号で、透湿係数を除く規格に適合するもの又は JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2種 1号若しくは 2号で透湿係数を除く規格に適合するもの (厚さ) ・ 25mm	・ 製造所の指定による	・ 製造所の指定による		・ D1-2						種別	施工箇所	種別	施工箇所	・ E-1		・ E-2		種別	施工箇所	断熱材	防湿層	高日射反射率 防水の適用	・ AS-T1					・ AS-T2					・ AS-T3					・ AS-T4					・ AS-J1					・ AS1-T1		(材質) ※JIS A 9521 による硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 1号若しくは 2号で、透湿係数を除く規格に適合するもの又は JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2種 1号若しくは 2号で透湿係数を除く規格に適合するもの (厚さ) ・ 25mm	・ 設ける (改質アスファルト製造所の仕様による)		・ AS1-J1			・ 設けない		・ S-F1				・ カラー・シム		・ S-F2						・ S-M1				・ カラー・シム		<p>2. 改良アスファルトシート防水</p> <p>3. 合成高分子系ルーフィングシート防水</p>
種別				施工箇所	断熱材		仕上塗料		高日射反射率 防水の適用																																																																																																						
	種類	使用量																																																																																																													
・ D-1																																																																																																															
・ D-2																																																																																																															
・ D-3																																																																																																															
・ D-4																																																																																																															
・ D1-1		(材質) ※JIS A 9521 による硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 1号若しくは 2号で、透湿係数を除く規格に適合するもの又は JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2種 1号若しくは 2号で透湿係数を除く規格に適合するもの (厚さ) ・ 25mm	・ 製造所の指定による	・ 製造所の指定による																																																																																																											
・ D1-2																																																																																																															
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																																												
・ E-1		・ E-2																																																																																																													
種別	施工箇所	断熱材	防湿層	高日射反射率 防水の適用																																																																																																											
・ AS-T1																																																																																																															
・ AS-T2																																																																																																															
・ AS-T3																																																																																																															
・ AS-T4																																																																																																															
・ AS-J1																																																																																																															
・ AS1-T1		(材質) ※JIS A 9521 による硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 1号若しくは 2号で、透湿係数を除く規格に適合するもの又は JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2種 1号若しくは 2号で透湿係数を除く規格に適合するもの (厚さ) ・ 25mm	・ 設ける (改質アスファルト製造所の仕様による)																																																																																																												
・ AS1-J1			・ 設けない																																																																																																												
・ S-F1				・ カラー・シム																																																																																																											
・ S-F2																																																																																																															
・ S-M1				・ カラー・シム																																																																																																											

<p>・ S-M2</p> <p>・ S-M3</p> <p>・ S1-F1</p> <p>・ S1-F2</p> <p>・ S1-M1</p> <p>・ S1-M2</p>	<p>(材質) ※標準仕様書 9.4.2 (c) (3) (ii) による</p> <p>(厚さ) ・ 25mm</p> <p>(材質) ※標準仕様書 9.4.2 (c) (3) (ii) による</p> <p>※発泡ポリイソシアネート (厚さ) ・ 25mm</p>	<p>・ カラー・シム</p> <p>・ カラー</p>																																																																						
<p>屋内防水</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="3">保護層</th> </tr> <tr> <th colspan="2">平場のモルタル塗り</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>塗り厚さ</th> <th>床塗り工法</th> <th>下地モルタル塗り</th> <th>モルタル塗り厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S-C1</td> <td></td> <td>※標準仕様書 15.2.5 (b) (2) 及び (3) に準ずる</td> <td></td> <td>※標準仕様書 15.2.5 (c) (1) に準ずる</td> <td>※7mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ ルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表 9.4.1、表 9.4.2 及び 表 9.4.3 による 絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ 0.4mm 以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面又は両面に樹脂を積層加工した鋼板</p> <p>P/Cコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別 S-C1 の場合の目地処理 ・ 図示 ・ 行わない</p> <p>P/Cコンクリート部材の入隅部の増張り (種別 S-F1、S1-F1、S-C1 の場合) ・ 行う (・ 図示) ・ 行わない</p> <p>ALCパネル下地の入隅部の増張り (種別 S-C1 の場合) ・ 行う (・ 図示) ・ 行わない</p> <p>機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に對に対応した工法 (9.5.3) (表 9.5.1、2)</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> <th>保護層</th> <th>高日射反射率 防水の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ X-1</td> <td></td> <td>・ カラー・シム</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ X-2</td> <td></td> <td>・ カラー・シム</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ Y-1</td> <td>※地下外壁防水</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ Y-2</td> <td>※屋内防水</td> <td></td> <td>・ 適用する</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>防水工事施工者及び工事受注者連名の保証書 (10年) を提出すること。 (9.6.1、3) (表9.6.1、2)</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ C-U1</td> <td></td> <td>・ C-U P</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(9.2.3) (9.3.3) (9.5.3)</p> <p>種別 種類 設置数量</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>D-1 D-2 D-3 D-4</td> <td>※アスファルト・フィンク 類製造所の仕様による</td> <td>※アスファルト・フィンク 類製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>D1-1 D1-2 AS-T3 AS-T4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>AS-J1 AS1-T1 AS1-J1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>X-1</td> <td>・ 防水層の主材料の製造所の仕様による</td> <td>・ 防水層の主材料の製造所の仕様による</td> </tr> </tbody> </table> <p>(9.7.2) (表 9.7.1)</p> <p>下表以外は、標準仕様書表 9.7.1による ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類 (記号)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a) (1)～(3)による</p>			種別	施工箇所	保護層			平場のモルタル塗り		立上り部の保護			塗り厚さ	床塗り工法	下地モルタル塗り	モルタル塗り厚さ	S-C1		※標準仕様書 15.2.5 (b) (2) 及び (3) に準ずる		※標準仕様書 15.2.5 (c) (1) に準ずる	※7mm以下	種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	高日射反射率 防水の適用	・ X-1		・ カラー・シム			・ X-2		・ カラー・シム			・ Y-1	※地下外壁防水				・ Y-2	※屋内防水		・ 適用する	・ 適用しない	種別	施工箇所	種別	施工箇所	※ C-U1		・ C-U P		D-1 D-2 D-3 D-4	※アスファルト・フィンク 類製造所の仕様による	※アスファルト・フィンク 類製造所の仕様による	D1-1 D1-2 AS-T3 AS-T4			AS-J1 AS1-T1 AS1-J1			X-1	・ 防水層の主材料の製造所の仕様による	・ 防水層の主材料の製造所の仕様による	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)			<p>4. 塗膜防水</p> <p>(1～4についての保証)</p> <p>5. ケイ酸質系塗布防水</p> <p>6. 脱気装置</p> <p>7. シーリング</p>
種別	施工箇所	保護層																																																																						
		平場のモルタル塗り		立上り部の保護																																																																				
		塗り厚さ	床塗り工法	下地モルタル塗り	モルタル塗り厚さ																																																																			
S-C1		※標準仕様書 15.2.5 (b) (2) 及び (3) に準ずる		※標準仕様書 15.2.5 (c) (1) に準ずる	※7mm以下																																																																			
種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	高日射反射率 防水の適用																																																																				
・ X-1		・ カラー・シム																																																																						
・ X-2		・ カラー・シム																																																																						
・ Y-1	※地下外壁防水																																																																							
・ Y-2	※屋内防水		・ 適用する	・ 適用しない																																																																				
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																					
※ C-U1		・ C-U P																																																																						
D-1 D-2 D-3 D-4	※アスファルト・フィンク 類製造所の仕様による	※アスファルト・フィンク 類製造所の仕様による																																																																						
D1-1 D1-2 AS-T3 AS-T4																																																																								
AS-J1 AS1-T1 AS1-J1																																																																								
X-1	・ 防水層の主材料の製造所の仕様による	・ 防水層の主材料の製造所の仕様による																																																																						
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																																																							
<h1>伊南行政組合</h1>																																																																								
<p>工 事 名</p> <p>有害物等一時保管倉庫建設工事</p>	<p>年 月 日</p> <p>H29・10・23</p>	<p>検 印 欄</p>																																																																						
<p>図面名称</p> <p>特記仕様書 (2)</p>	<p>図面番号</p> <p>2</p>																																																																							

章	項 目	特 記 事 項	10 石 工 事	11 タ イ ル 工 事	12 木 工 事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10	1. 施工	<p>(10.1.3、5)</p> <p>石材の割付け ※標準10.1.3(a)(1)、(2)による ・ 図示 粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ ・ 図示 屋内の床を本磨きとする場合のワックスがけ ・ 行う(適用場所 ・ すべて ・) ・ 行わない</p>	6. 床及び階段の石張り (10.6.2、3)	7. アーチ、上げ裏等の石張り (10.2.2)(10.7.1、2)	3. 接着剤による陶磁器質タイル張り	<p>(11.3.2~4、7)</p> <p>タイルの形状、寸法等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">主な用途による区分</th> <th rowspan="2">形状/寸法(mm)</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th colspan="2">色</th> <th rowspan="2">再生材の適用</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>施ゆう</th> <th>無ゆう</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材 打継ぎ目地 ※ ポリウレタン系シーリング材 ひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系シーリング材 伸縮調整目地 ※ 変成シリコン系シーリング材 その他の目地 ※ 変成シリコン系シーリング材 モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ MCR工法 ・ 目荒し工法(高圧洗浄) ・</p>	施工箇所	主な用途による区分	形状/寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	耐凍害性		備考	I類	II類	III類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注	有	無				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																					
	施工箇所	主な用途による区分				形状/寸法(mm)				吸水率による区分			うわぐすり		役物		色			再生材の適用	耐凍害性		備考																																																																																																																																																																																																																																																																																														
I類			II類	III類	施ゆう		無ゆう	有	無	標準	特注	有	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
2. 石材等	<p>(10.2.1、3)(表 10.2.1、2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品質</th> <th>石材の種類</th> <th>形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ 1等品 ・ 2等品</td> <td></td> <td>※正方形に近い矩形</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 1等品 ・ 2等品</td> <td></td> <td>※正方形に近い矩形</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>テラゾブロック</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ(mm)</th> <th>形状</th> <th>仕上げ面</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・ 花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・ 平もの ・ 役もの</td> <td>・ 片面 ・ 両面</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・ 花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・ 平もの ・ 役もの</td> <td>・ 片面 ・ 両面</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>テラゾタイル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ(mm)</th> <th>寸法による区分</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・ 花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・ 300型 ・ 400型</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・ 花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・ 300型 ・ 400型</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>取り付用モルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材 ※石材施工者の指定する製品</p> <p>(10.2.2、3)(10.3.2、3)</p> <p>石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 下地ごしらえ ※流し筋工法 ・ あと施工アンカー工法 ・ あと施工アンカー、横筋横流し工法 受金物 材質 ※SS400 形状及び寸法 ・ L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm ・ L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm</p> <p>ドレインパイプの材質 ・ 樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ</p> <p>アンカーの材質及び径 ※SS400 M12 あと施工アンカーの材質及び寸法 () 目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書11.1.1による ・ 図示 シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a)(3)による ・ 図示</p> <p>(10.2.2)(10.4.2、3)</p> <p>受金物 材質 ※SS400 形状及び寸法 ・ L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm ・ L-75×75×6(mm)の加工 L=50mm</p> <p>石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー、横筋横流し工法 ・ あと施工アンカー工法 アンカーの材質及び径 ※SS400 M12 あと施工アンカーの材質及び寸法 () 目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※6mごと ・ 図示 シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a)(3)による ・ 図示</p> <p>(10.2.2)(10.5.2、3)(表10.2.4)</p> <p>取付け方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない だば用の穴の位置 ※標準仕様書10.5.2(b)(1)による ・ 図示 外壁の工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・ 適用しない</p>	施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考		・ 1等品 ・ 2等品		※正方形に近い矩形						・ 1等品 ・ 2等品		※正方形に近い矩形					施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上げ	備考		※大理石 ・ 花こう岩	※1.5~12	・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面					※大理石 ・ 花こう岩	※1.5~12	・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面				施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考		※大理石 ・ 花こう岩	※1.5~12	・ 300型 ・ 400型				※大理石 ・ 花こう岩	※1.5~12	・ 300型 ・ 400型			<p>8. 床及び階段の石張り (10.6.2、3)</p> <p>7. アーチ、上げ裏等の石張り (10.2.2)(10.7.1、2)</p> <p>8. 竝木、甲板等の石張り (10.2.2)(10.7.1、3)</p> <p>1. 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)(表11.1.1)</p> <p>2. セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り (11.2.2、3、7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">主な用途による区分(JIS)</th> <th rowspan="2">形状/寸法(mm)</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th colspan="2">色</th> <th rowspan="2">再生材の適用</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">滑り抵抗性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>施ゆう</th> <th>無ゆう</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ・ MCR工法 ・ 目荒し工法(高圧洗浄) ・</p> <p>壁タイル張りの工法 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り</p> <p>既製調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による(試験方法) 建築材料等品質性能表による</p> <p>既製調合目地材 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による(試験方法) 建築材料等品質性能表による</p>	施工箇所	主な用途による区分(JIS)	形状/寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	耐凍害性		滑り抵抗性	備考	I類	II類	III類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注	有	無				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		<p>(1. 表面仕上げ (表12.1.1)(12.1.4))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表面仕上げの種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>木材の品質 ・ 標準12.2.1による ・ 信州木材認証製品又は同等品 ・ 市販品 (12.2.1)</p> <p>(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見え係り面</td> <td></td> <td></td> <td>※1小節</td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td></td> <td>※1小節以上</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>「製材の日本農林規格」による広葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※10%以下 ・ A種・B種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>「製材の日本農林規格」以外の製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>造作材の材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>() 造作材の場合(※A種・B種)</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>※A種・B種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 代用樹種を使用できない箇所 ()</p>	表面仕上げの種別	適用箇所	・ A種		※B種		・ C種		施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用				※2級		※A種・B種	・				※2級			・				※2級			・	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用	見え係り面			※1小節		※A種・B種	・	見え掛り面以外			※1小節以上			・	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用				※1等		※10%以下 ・ A種・B種	・	施工箇所	樹種	寸法(mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用				() 造作材の場合(※A種・B種)	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	※A種・B種	・	<p>1. 表面仕上げ (表12.1.1)(12.1.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表面仕上げの種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>木材の品質 ・ 標準12.2.1による ・ 信州木材認証製品又は同等品 ・ 市販品 (12.2.1)</p> <p>(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見え係り面</td> <td></td> <td></td> <td>※1小節</td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td></td> <td>※1小節以上</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>「製材の日本農林規格」による広葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※10%以下 ・ A種・B種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>「製材の日本農林規格」以外の製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>造作材の材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>() 造作材の場合(※A種・B種)</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>※A種・B種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 代用樹種を使用できない箇所 ()</p>	表面仕上げの種別	適用箇所	・ A種		※B種		・ C種		施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用				※2級		※A種・B種	・				※2級			・				※2級			・	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用	見え係り面			※1小節		※A種・B種	・	見え掛り面以外			※1小節以上			・	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用				※1等		※10%以下 ・ A種・B種	・	施工箇所	樹種	寸法(mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用				() 造作材の場合(※A種・B種)	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	※A種・B種	・	<p>3. 接着剤による陶磁器質タイル張り</p> <p>4. 陶磁器質タイル型枠先付け</p>	<p>伊南行政組合</p> <p>工 事 名 有害物等一時保管倉庫建設工事 年月日 H29・10・23</p> <p>図面名称 特記仕様書(3) 図面番号 3</p>	<p>検印欄</p>
施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・ 1等品 ・ 2等品		※正方形に近い矩形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・ 1等品 ・ 2等品		※正方形に近い矩形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上げ	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	※大理石 ・ 花こう岩	※1.5~12	・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	※大理石 ・ 花こう岩	※1.5~12	・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	※大理石 ・ 花こう岩	※1.5~12	・ 300型 ・ 400型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	※大理石 ・ 花こう岩	※1.5~12	・ 300型 ・ 400型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	主な用途による区分(JIS)	形状/寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	耐凍害性		滑り抵抗性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			I類	II類	III類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		有	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
表面仕上げの種別	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			※2級		※A種・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			※2級			・																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			※2級			・																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
見え係り面			※1小節		※A種・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
見え掛り面以外			※1小節以上			・																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			※1等		※10%以下 ・ A種・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	樹種	寸法(mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			() 造作材の場合(※A種・B種)	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	※A種・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
表面仕上げの種別	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			※2級		※A種・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			※2級			・																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			※2級			・																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
見え係り面			※1小節		※A種・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
見え掛り面以外			※1小節以上			・																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			※1等		※10%以下 ・ A種・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	樹種	寸法(mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			() 造作材の場合(※A種・B種)	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	※A種・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

12 木 工 事	3. 造作用集成材 (12.2.1)	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材	6. 接着剤 (12.2.2, 3)	・構造用パネル	14 金 属 工 事	4. とい (13.5.2, 3)(表 13.5.5)	工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材	・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材	7. 防菌・防蟻 (12.3.1, 2)	・防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材 適用部位：() ・薬剤の加圧注入による防菌・防蟻処理		1. ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)	瓦椼木の留付け工法 ※図示 棟の工法 ※標準仕様書13.4.3(d)(1)～(4)による
	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱	・防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材 適用部位：() ・薬剤の加圧注入による防菌・防蟻処理	・ボード原料接着材への薬剤混入による防菌、防蟻処理 適用部位：()		2. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(表 14.2.1)	・この材種 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 鋼管製といの防露巻き 適用する(工法：※標準仕様書表13.5.5による) 適用しない
	・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱	・ボード原料接着材への薬剤混入による防菌、防蟻処理 適用部位：()	・下葺材料 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般タイプ・複層材タイプ・粘着層付タイプ)		③鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.4.1)	・ろく屋根用(・縦型・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱	・下葺材料 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般タイプ・複層材タイプ・粘着層付タイプ)	工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)		4. 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2～4)(表14.4.1)	・野縁等の種類 屋外(※25形・19形) 屋内(※19形・25形) ・屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
4. 造作用単板積層材 (12.2.1)	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材	②折板葺 (13.2.2)(13.3.2, 3)(表 13.2.1)	施工箇所 板及びコイルの種類 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 厚さ(mm) 屋根葺形式 備考	14 金 属 工 事	④鉄鋼の亜鉛めっき (14.4.2～4)(表14.4.1)	・A-1種 ※AA15 ・A-2種(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー) ※AA15 ・B-1種 ※B ・B-2種(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー) ※B ・C-1種 ※AA6 ・C-2種(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー) ※AA6 ・D種	
・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	施工箇所 形式 山高、山ビツチによる区分 耐力による区分 材料による区分 厚さ(mm) 軒先面戸板 耐火性能	材料 板及びコイルの種類() 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号() 断熱材 有り(種別： 厚さ(mm)： 防火性能： 時間) 無し		野縁等の種類 (14.4.2～4)(表14.4.1)	・電気亜鉛めっき ・D種 ・E種 ・F種	
・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	施工箇所 厚さ(mm) 表面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用	工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)		・野縁等の種類 (14.4.2～4)(表14.4.1)	・野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・周辺部の端からの間隔 ・図示 ・野縁の間隔 ・図示	
・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	施工箇所 厚さ(mm) 等級 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 有効断面係数比 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用	材料 板及びコイルの種類() 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号() 断熱材 有り(種別： 厚さ(mm)： 防火性能： 時間) 無し		・野縁等の種類 (14.4.2～4)(表14.4.1)	・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示	
・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	施工箇所 厚さ(mm) 等級 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 有効断面係数比 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用	工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)		・野縁等の種類 (14.4.2～4)(表14.4.1)	・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※標準仕様書14.4.4(h)(1)～(2)による ・図示	
5. 床張り用合板等 (12.2.1)	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・「合板の日本農林規格」による普通合板	3. 粘土瓦葺 (13.4.2, 3)	施工箇所 種類 製法による区分 形状による区分 寸法による区分 大きさ 産地 役物瓦の種類 雪止め瓦	14 金 属 工 事	④鉄鋼の亜鉛めっき (14.4.2～4)(表14.4.1)	・天井のふところが3.0mを超える場合 補強方法 ※図示	
・「合板の日本農林規格」による普通合板	・「合板の日本農林規格」による普通合板	施工箇所 種類 製法による区分 形状による区分 寸法による区分 大きさ 産地 役物瓦の種類 雪止め瓦	瓦椼木 材質 ※杉又はひのき 寸法 ※幅21×高さ15(mm) 棟補強用心材 材質 ※杉又はひのき 寸法 ※幅40×高さ30(mm)		伊南行政組合	・野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・周辺部の端からの間隔 ・図示 ・野縁の間隔 ・図示	
・「合板の日本農林規格」による普通合板	・「合板の日本農林規格」による普通合板	施工箇所 種類 製法による区分 形状による区分 寸法による区分 大きさ 産地 役物瓦の種類 雪止め瓦	・野縁等の種類 (14.4.2～4)(表14.4.1)		伊南行政組合	・野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・周辺部の端からの間隔 ・図示 ・野縁の間隔 ・図示	
・「合板の日本農林規格」による普通合板	・「合板の日本農林規格」による普通合板	施工箇所 種類 製法による区分 形状による区分 寸法による区分 大きさ 産地 役物瓦の種類 雪止め瓦	・野縁等の種類 (14.4.2～4)(表14.4.1)		伊南行政組合	・野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・周辺部の端からの間隔 ・図示 ・野縁の間隔 ・図示	
・「合板の日本農林規格」による普通合板	・「合板の日本農林規格」による普通合板	施工箇所 種類 製法による区分 形状による区分 寸法による区分 大きさ 産地 役物瓦の種類 雪止め瓦	・野縁等の種類 (14.4.2～4)(表14.4.1)		伊南行政組合	・野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・周辺部の端からの間隔 ・図示 ・野縁の間隔 ・図示	

伊南行政組合		検印欄	
工事名	有害物等一時保管倉庫建設工事	年月日	H29・10・23
図面名称	特記仕様書(4)	図面番号	4

章	項目	特記事項																				
14 金属工事	5. 軽量鉄骨壁下地	・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 図示 補強方法 ※図示 (14. 5. 3) (表 14. 5. 1)																				
	6. 金属成形板張り	スタッド、ランナーの種類 ※標準仕様書表14. 5. 1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 図示 スタッドの高さが5. 0mを超える場合 ※図示 (14. 6. 2、3) (表 14. 2. 1)																				
	7. アルミニウム製笠木	種類 250形 300形 350形 表面処理 種別 () 種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14. 2. 1による) 着色 (アンバー ブロンズ ブラック系 ステンカラー) 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1. 15 ・1. 3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) (14. 7. 2、3) (表 14. 2. 1) (表 14. 7. 1)																				
	8. 手すりおよびタラップ	取付け用下地 ※標準仕様書14. 4による 図示 伸縮調整継手 設ける (施工箇所 図示) 設けない (14. 8. 2、3)																				
	1. モルタル塗り	既製目地材 設ける 施工箇所 () 形状 (※図示) 設けない 床目地 設ける (工法※押し目地) 設けない 外壁タイル張り下地の均しモルタルの接着力試験 適用する 適用しない ・防水剤 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による (6. 2. 5) (15. 3. 2)																				
	2. 均しコンクリートの直均し仕上げ	下表以外は標準仕様書15. 3. 2による <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>平たんさ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>71-77x707 (パネル構法) 範囲</td> <td>1mにつき 10 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>71-77x707 (溝構法) 範囲</td> <td>3mにつき 7 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内外土間コンクリート</td> <td>1mにつき 3 以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	平たんさ(mm)	備考	71-77x707 (パネル構法) 範囲	1mにつき 10 以下		71-77x707 (溝構法) 範囲	3mにつき 7 以下		内外土間コンクリート	1mにつき 3 以下									
	施工箇所	平たんさ(mm)	備考																			
	71-77x707 (パネル構法) 範囲	1mにつき 10 以下																				
71-77x707 (溝構法) 範囲	3mにつき 7 以下																					
内外土間コンクリート	1mにつき 3 以下																					
3. セルフレベリング材塗り	・せっこう系 ・セメント系 (15. 4. 2) (表15. 4. 1)																					
4. 仕上塗材仕上材	建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 仕上塗材の種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・薄付け仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材 S i</td> <td></td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・塗材</td> <td>・可とう形外装薄塗材 S i</td> <td></td> <td>・ゆず肌状 (吹付け ローラー塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 E</td> <td></td> <td>・さざ波状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 E</td> <td></td> <td>・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材 E</td> <td></td> <td>・凹凸状 (吹付け こて塗り)</td> </tr> </tbody> </table>	種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状等	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i		・砂壁状	・塗材	・可とう形外装薄塗材 S i		・ゆず肌状 (吹付け ローラー塗り)	・外装薄塗材 E		・さざ波状	・可とう形外装薄塗材 E		・平たん状	・防水形外装薄塗材 E		・凹凸状 (吹付け こて塗り)
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状等																			
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i		・砂壁状																			
・塗材	・可とう形外装薄塗材 S i		・ゆず肌状 (吹付け ローラー塗り)																			
	・外装薄塗材 E		・さざ波状																			
	・可とう形外装薄塗材 E		・平たん状																			
	・防水形外装薄塗材 E		・凹凸状 (吹付け こて塗り)																			

5. ALCパネルの場合の 下地処理	・可とう形外装薄塗材 E ・防水形外装薄塗材 E ・外装薄塗材 S ・内装薄塗材 C ・内装薄塗材 L ・内装薄塗材 S i ・内装薄塗材 E ・内装薄塗材 W ・厚付け仕上塗材 ・外装厚塗材 C ・外装厚塗材 S i ・外装厚塗材 E ・内装厚塗材 C ・内装厚塗材 L ・内装厚塗材 G ・内装厚塗材 S i ・内装厚塗材 E ・複層仕上塗材 ・複層塗材 C E ・可とう形複層塗材 C E ・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・防水形複層塗材 C E ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材 R E ・防水形複層塗材 R S ・軽量骨材仕上塗材 ・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材	・平たん状 ・凹凸状 (吹付け こて塗り) ・着色骨材砂壁状 (吹付け こて塗り) ・砂壁状じゆらく ・京壁状じゆらく 吸放湿性 適用する 適用しない 耐湿性 適用する 適用しない ・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 吸放湿性 適用する 適用しない 上塗材 適用する 適用しない ・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 上塗材 耐候性 ※耐候形3種 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり・つやなし・マット 増塗材 適用する 適用しない
6. マスチック塗材塗り	種別 ・A種 ・B種 (仕上材塗り: EP-G ※B種 ・A種)	
7. ロックウール吹付け	ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 吹付け厚さ(mm) 図示 25	
1. 防火戸	※建具表による	(16. 1. 3)
2. 見本の製作等	建具見本の製作 行う (建具符号:) 行わない 建具見本の程度 工事に使用するものとして、あらかじめ製作する 納まり等が分かる程度のもの 特殊な建具の仮組 行う (建具符号:) 行わない	(16. 1. 4)
3. 防犯建物部品	・適用する (※建具表による) ・適用しない	(16. 1. 6)
4. アルミニウム製建具	性能等級 外部に面する建具 ・A種 (建具符号: ※建具表による) ・B種 (建具符号: ※建具表による) ・C種 (建具符号: ※建具表による) 防音ドアセット, 防音サッシ 適用する 遮音性の等級 () (建具符号: 建具表による) 適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ 適用する 断熱性の等級 () (建具符号: 建具表による) 適用しない 耐震ドアセット 適用する 面内変形追従性の等級 () (建具符号: 建具表による) 適用しない 枠の見込み寸法 建具表による 70 表面処理 外部に面する建具 ・B-1種 ・B-2種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14. 2. 1による) 着色 (アンバー ブロンズ ブラック系 ステンカラー) 屋内の建具 ・C-1種 ・C-2種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14. 2. 1による) 着色 (アンバー ブロンズ ブラック系 ステンカラー) 結露水の処理方法 ※図示 水切り板, ぜん板 ※図示	(16. 2. 2、4、5) (表14. 2. 1)
5. 網戸等	種類 材種 線径 網目 ・防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製 ・防鳥網 ステンレス (SUS304) 線材 1. 5mm 網目寸法15mm	(16. 2. 3)

6. 樹脂製建具	性能等級 (16. 3. 2~5) 外部に面する建具 ・A種 (建具符号: 建具表による) ・B種 (建具符号: 建具表による) ・C種 (建具符号: 建具表による) 防音ドアセット, 防音サッシ 適用する 遮音性の等級 (T-1 T-2) (建具符号: 建具表による) 適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ 適用する 断熱性の等級 (H-4 H-5 H-6) (建具符号: 建具表による) 適用しない 耐震ドアセット 適用する 面内変形追従性の等級 () (建具符号: 建具表による) 適用しない 枠の見込み寸法 建具表による 表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板, ぜん板 ※図示 ガラス ※複層ガラス (16. 2. 2) (16. 4. 2~4) (表16. 4. 2)									
7. 鋼製建具	性能等級 簡易気密型 適用する (建具符号: 建具表による) 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号: 建具表による) ・S-5 (建具符号: 建具表による) ・S-6 (建具符号: 建具表による) 防音ドアセット, 防音サッシ 適用する 遮音性の等級 () (建具符号: 建具表による) 適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ 適用する 断熱性の等級 () (建具符号: 建具表による) 適用しない 耐震ドアセット 適用する 面内変形追従性の等級 () (建具符号: 建具表による) 適用しない 鋼板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>めっき着量</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)</td> <td>※Z12又はF12</td> <td>標準仕様書表16. 4. 2による</td> </tr> <tr> <td>・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)</td> <td>※Y08</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材料	めっき着量	厚さ	・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)	※Z12又はF12	標準仕様書表16. 4. 2による	・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)	※Y08	
材料	めっき着量	厚さ								
・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)	※Z12又はF12	標準仕様書表16. 4. 2による								
・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)	※Y08									
8. 鋼製軽量建具	性能等級 (16. 2. 2) (16. 5. 2~5) 簡易気密型 適用する (建具符号: 建具表による) 適用しない 防音ドアセット, 防音サッシ 適用する 遮音性の等級 () (建具符号: 建具表による) 適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ 適用する 断熱性の等級 () (建具符号: 建具表による) 適用しない 耐震ドアセット 適用する 面内変形追従性の等級 () (建具符号: 建具表による) 適用しない 鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 鋼板の厚さ 標準仕様書表16. 5. 1による 召合せ, 縦小口包み板の材質 ※鋼板									
9. ステンレス製建具	性能等級 (16. 2. 2) (16. 4. 2) (16. 6. 2~4) 簡易気密型 適用する (建具符号: 建具表による) 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号: 建具表による) ・S-5 (建具符号: 建具表による) ・S-6 (建具符号: 建具表による) 防音ドアセット, 防音サッシ 適用する 遮音性の等級 () (建具符号: 建具表による) 適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ 適用する 断熱性の等級 () (建具符号: 建具表による) 適用しない 耐震ドアセット 適用する 面内変形追従性の等級 () (建具符号: 建具表による) 適用しない 鋼板 (屋外) ※SUS430J1L, SUS443J1, SUS304 鋼板 (屋内) ※SUS430, SUS430J1L, SUS443J1, SUS304 表面仕上げ ※H L仕上げ ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ									

伊南行政組合

検印欄

工事名	有害物等一時保管倉庫建設工事	年月日	H29・10・23
図面名称	特記仕様書 (5)	図面番号	5

章	項 目	特 記 事 項
16 建 具 工 事	10. 木製建具	(16. 7. 2~4) 建具材の加工、組立時の含水率 ※日種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・フラッシュ戸 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・普通合板 表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※90%程度) 不透明塗料塗り (※しな程度) 板面の品質 () 接着の程度 (・1類 ・2類) 防虫処理 ・行う ・天然木 化粧合板 樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類) 防虫処理 ・行う ・特殊加工 化粧合板 化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1類 ・2類) 防虫処理 ・行う 表面板の厚さ ※表16. 7. 6による ・かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ふすま 張りの種別 (・I型 ・II型) 上張り ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は曇花紙程度 縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクリアー塗装) 見込み寸法 ※19. 5mm ・建具表による ・戸ぶすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による 枠、くつずりの材料 ・建具表による
	11. 建具用金物	(16. 8. 2. 3) (表16. 8. 1) 金物の種類・見え掛り部の材質等 ※標準仕様書表16. 8. 1及び適用は建具表による 樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16. 8. 3による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ・建具表による ・錠前類 【シリンダ箱錠及びシリンダ本締り錠】 (品質) デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。 (性能) 建築材料等品質性能表による ・錠前類 【レバーハンドル】 (性能) 建築材料等品質性能表による ・クローザ類 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による
⑫	鍵	(16. 8. 4) マスターキー ・製作する ○製作しない その他の鍵 ※各室3本1組 鍵箱 ※有り ○無し
	13. 自動ドア開閉機構	(16. 9. 2, 3) (表16. 9. 1, 2) 自動ドア 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※標準仕様書表 16. 9. 1による ・SSLD-2 ・適用する ・DSLD-1 ・適用しない ・DSLD-2 ・SWD-1 ※標準仕様書表 16. 9. 2による ・SWD-2 ・図示 ・マトリックススイッチ ・光線 (反射) スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ ・行う (適用箇所は 建具表による) ・行わない
		(品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による

14. 自閉式吊り引戸装置	(16. 10. 3)
15. 重量シャッター	(16. 11. 2, 3)
⑬ 軽量シャッター	(16. 12. 2~4)
17. オーバーヘッドドア	(16. 13. 2, 3)
18. ガラス	(9. 7) (16. 14. 2~4) (表16. 14. 1)

性能 ※標準仕様書表 16. 10. 1 による (試験) 建築材料等品質性能表による	(16. 10. 3)
シャッターの種類 耐風圧強度 ・管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m ² ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m ² ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター	(16. 11. 2, 3)
開閉機能による種類 ※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※Z12又はF12 スラットの材質 ○JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※AZ90) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形	(16. 12. 2~4)
開閉形式 ○手動式 ・上部電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () N/m ² スラットの材質 ○JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※AZ90) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形	(16. 13. 2, 3)
セクション材料 による区分 耐風圧 区分 (Pa) 開閉方式 による区分 収納形式 による区分 ガイドレールの材質 ※スチールタイプ ・125 ※バランス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛 ・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 めっき鋼板 ・ファイバークラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形 ・ステンレス鋼板 ・パーテカル形	(16. 13. 2, 3)
・合わせガラス 品 種 構成種類 性能 ・フロート合わせガラス ・フロート板合わせガラス ・I類 ・熱線吸収、フロート板合わせガラス ・網入磨き合わせガラス ・網入磨き、フロート板合わせガラス ・II-1類 ・II-2類 ・III類 ・強化ガラス 材料板ガラスによる種類 種類 性能 ・フロートガラス ・フロート強化ガラス ・I類 ・III類 ・熱線吸収強化ガラス ・型板ガラス ・型板強化ガラス ・熱線吸収板ガラス 品 種 性能 色調 ・熱線吸収フロート板ガラス ・1種 ・2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・熱線吸収網入磨き板ガラス	(16. 14. 1)
・複層ガラス 品 種 断熱性 日射熱遮へい性 ・断熱複層ガラス ・1種 U1 ・2種 U2 ・3種 U-3-1 ・U-3-2 ・日射熱遮へい複層ガラス ・4種 E4 ・5種 E5 ・熱線反射ガラス 品 種 日射遮へい性 耐久性 ・熱線反射ガラス ・1種 A種 色調 (・ブルー ・グレー) ・2種 ・A種 ・B種 ・高性能熱線反射ガラス ・3種 B種 色調 (・ブロンズ ・シルバー) 反射被膜面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う ・倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色調 ・フロート倍強度ガラス - ・熱線吸収倍強度ガラス ・ブルー ・グレー ・ブロンズ	(16. 14. 1)

19. ガラスブロック	(16. 14. 5) ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ (mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ステンレス製 ・シーリング材 ※標準仕様書表16. 14. 1による ・図示	
17. カーテンウォール工事	(17. 1. 3) (17. 2. 2) (17. 3. 2) 1. 取付方法、性能等 取付方法 ・層間方式 ・柱・梁方式 ・方立方式 ・スパンドレル方式 性能 耐震性能 水平方向 (kH) 垂直方向 (kV) 水密性 気密性 遮音性 断熱性 耐火性能 耐温度差性能 ・1. 0 ・0. 5 ・30分 ・1時間 ・80 ・70 ・60 耐風圧性能 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1. 15 ・1. 3) 倍の風圧力に対応した工法) 主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く) 支点間距離 (h) 耐風圧性能 状態 4m以下 ・たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること 部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること 4mを超える ・ならないこと 層間変位追従性 建築物の構造種別 層間変位量 (h=支点間距離) 変位後の状態 鉄骨造 ・±(1/200)×h以上 部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること 鉄筋コンクリート造 ・±(1/300)×h以上 シーリングは補修程度の損傷であること 鉄骨鉄筋コンクリート造	
<h1>伊南行政組合</h1>		
工事名	有害物等一時保管倉庫建設工事	年月日 H29・10・23
図面名称	特記仕様書 (6)	図面番号 6
<h2>検印欄</h2>		

章 項目	特記事項	5. 塗装	(18. 4. 1~18. 14. 2)		(19. 3. 3, 4)
17	カーテンウォール工事				
2. メタルカーテンウォール	シーリング材 下表以外は標準仕様書表 9.7.1 による 被着体の組合せ 金属 ガラス ガラス ガラス カーテンウォール板間目地 構造用ガasket 適用する (施工箇所 図示) 材質 クロロブレン系 EPDM系 シリコン系 形状 H型 Y型 C型 寸法(mm) ガラス板厚 ()、支持枠の厚さ ()、ウェブの寸法 () 適用しない 断熱材 種類 () 厚さ(mm) () 施工箇所 図示 耐火材料 施工部位 種別 規格帯 ファスナー部 取付けブラケット パネル目地部 層間ふさぎ		5. 塗装 (18. 4. 1~18. 14. 2) 塗装 種別 塗料の種類 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 木部屋外 ※A種・B種 ※1種・2種 木部屋内 ※B種・A種 ※1種・2種 鉄鋼面 ※B種・A種 ※1種・2種 亜鉛めっき鋼面 ー ※1種・2種 タリヤラッカー塗り (OL) ※B種・A種 ー アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD) ※B種・A種 ー 耐候性塗料塗り (DP) 鉄鋼面 ー 上塗り等級 () 級 亜鉛めっき鋼面 ー 上塗り等級 () 級 コンクリート面及び押出成形ワット板面 A種・B種・C種 上塗り等級 () 級 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) コンクリート面、モルタル面、プラスチック面、せっこうボード、面、その他ボード面等 ※B種・A種 ー 屋内の鉄鋼面 ※B種・A種 ー 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) ※B種・A種 ー 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T) ※B種・A種 ー ウレタン樹脂フニス塗り (UC) ※B種・A種 ー ラッカーエナメル塗り (LE) ※B種・A種 ー オイルステイン塗り (OS) ー ー 木材保護塗料塗り (WP) ※B種・A種 ー 屋上、屋根面の金属面に塗装する場合の塗料は高日反射率塗装とする。		タフテッドカーベットのバイル形状 バイル長さ (mm) 工法 帯電性 備考 カットバイル ※1種・2種 ※5~7 ※全面接着工法 適用する (性能: ※人体帯電圧 3kv以下) ループバイル ※4~6 ※グリッパー工法 レベルアップバイル ※4 カット、ループ併用 下敷き材(グリッパー工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ニードルパンチカーベットの厚さ (mm) () 帯電性 適用する (性能: ※人体帯電圧 3kv 以下) 適用しない 備考 () タイルカーベットのバイル形状 種別 施工箇所 寸法 総厚さ (mm) 備考 ※ループバイル ※第一種 第二種 ※500×500 ※6.5 カットバイル 第一種 第二種 ※500×500 ※6.5 カット・ループ併用 第一種 第二種 ※500×500 ※6.5 タイルカーベットの敷き方 平場 ※市松敷き 模様流し 階段部分 ※模様流し 市松敷き 見切り、押え金物 適用する (材質、形状等 図示) 適用しない (19. 4. 2, 3) (表 19. 4. 1~7) 種別 施工箇所 工法 仕上げの種類 厚膜型塗床材 弾性樹脂系塗床 ※平滑仕上げ 防汚仕上げ つか消し仕上げ 厚膜型塗床材 エキ樹脂系塗床 薄膜流し展べ工法 平滑仕上げ 厚膜流し展べ工法 防汚仕上げ 樹脂モルタル工法 薄膜型塗床材 フル樹脂塗床 (JIS K 5970) 工程 塗布量 (kg/m ²) 表面仕上げ 平滑 防汚 溶剤 水性色 溶剤系 無溶剤系 仕上げ色 標準色
3. PCカーテンウォール	カーテンウォールの材料 (17. 2. 2, 3, 5) 材料 規格等 映像調整 ※アルミニウム製 ※標準仕様書16. 2. 3による A-1種 A-2種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表 14. 2. 1による) 着色 (アンバー、ブロンズ、ブラック系、ステンカラー) 製品及び取付位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17. 2. 1~3による ガラス溝の寸法、形状 ※製造所の仕様による (17. 3. 2~5) (表17. 3. 1, 2) カーテンウォールの材料 コンクリート ※標準仕様書17. 3. 2(a)(i)~(iv)による 鉄筋 ※SD295A (D13 D10) 補強鉄線の径 (mm) ※3. 2 4. 0 5. 0 6. 0 配筋 図示 先付けの材料 サッシ枠 ゴンドラ用ガイドレール 表面仕上げ材 磁器質タイル 石材 (花こう岩 大理石) ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm) h=-1~+2, W1及びW2=±1 製品及び取付位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17. 3. 1~2による (17. 3. 2~5) (表17. 3. 1, 2)	19 内装工事	1. 接着剤 (19. 2. 2) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着剤は可塑性 (揮発性の可塑性を除く) が添付されていないものとする。 施工箇所の下地がモルタル系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別 図示 (19. 2. 2, 3) 種類 JIS 記号 施工箇所 色柄 特殊機能 厚さ (mm) 備考 発泡層のないもの ※FS (複層ビニル床シート) 無地 帯電防止 2.0 マーブル柄 耐動荷重性 発泡層のあるもの 無地 防汚性 柄物 耐薬品性 工法 ※熱溶接工法 突付け (施工箇所) 特殊機能 帯電防止 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ⁷ ~1×10 ¹⁰ Ω程度 (19. 2. 2) JIS記号 施工箇所 色柄 寸法 特殊機能 厚さ (mm) 備考 FT (複層ビニル床タイル) 無地 柄物 300×300 450×450 帯電防止 防汚性 2.0 2.5 3.0 KT (コンクリート上ビニル床タイル) 無地 柄物 300×300 450×450 帯電防止 防汚性 2.0 3.0 FOA (置敷きビニル床タイル) 無地 柄物 500×500 帯電防止 防汚性 特殊機能 帯電防止 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ⁷ ~1×10 ¹⁰ Ω程度 (19. 2. 2) 材質 軟質 硬質 高さ (mm) ※60 75 厚さ (mm) ※1.5以上 (19. 2. 2) 色柄 () 厚さ (mm) 3.0 4.5 6.0 9.0 寸法 (mm) () (19. 2. 2) 織じゆうたん (19. 3. 3, 4) (表 19. 3. 1) 種別 バイル形状 織り方 色柄等 帯電性 備考 A種 カットバイル ウルトンカーベットの 無地 適用する (性能: ※人体帯電圧 3kv以下) B種 ループバイル ダブルフェイスクーベットの (標準品) C種 カット、ループ併用 フォキシスターカーベットの 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm	8. フローリング張り	単層フローリング (19. 5. 2~6) (表 19. 5. 1~5) 種類 工法 樹種 厚さ (mm) 大きさ 仕上げ 間伐材等の適用 フローリングシート1等 釘留め工法 (根太張り) ※なら 15 板幅75 板長さ900以上 塗装品 無塗装品 釘留め工法 (直張り) ※なら 12以上 板幅75 板長さ500以上 接着工法 ※なら 12以上 板幅75 板長さ500以上 フローリングブロック1等 接着工法 ※なら 15 303×303 塗装品 無塗装品 モルタル埋込工法 ※なら 15 ※303×303 塗装品 無塗装品 モザイクタイル1等 接着工法 塗装品 無塗装品
18	1. 材料 (18. 1. 3) 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所) 日本塗装工業会の会員 監督職員の承諾する業者 ※ 塗装業者、工事受注者連名の保証書 (3年) を提出すること。 (18. 2. 2~7) 下地面等 種別 木部 不透明塗料塗りの場合 ※A種・B種 透明塗りの場合 ※B種・A種 鉄鋼面 ※C種・A種・B種 亜鉛めっき鋼面 A種・B種・C種 モルタル面及びプラスター面 ※B種・A種 コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面 ※B種・A種 せっこうボード面及びその他 目地: 縦目処理工法 ※A種・B種 ボード面 目地: 縦目処理工法以外 ※B種・A種 (18. 3. 2, 3) 下地面等 工程の種別 塗料の種類 鉄鋼面 見え掛り部分 ※A種・B種 見え隠れ部分 ※B種・A種 亜鉛めっき鋼面 鋼製建具 ※A種・B種 A種・B種 鋼製建具以外 ※B種・A種・B種 C種	4. ビニル幅木 5. ゴム床タイル 6. カーベットの敷き	(19. 2. 2) 材質 軟質 硬質 高さ (mm) ※60 75 厚さ (mm) ※1.5以上 (19. 2. 2) 色柄 () 厚さ (mm) 3.0 4.5 6.0 9.0 寸法 (mm) () (19. 2. 2) 織じゆうたん (19. 3. 3, 4) (表 19. 3. 1) 種別 バイル形状 織り方 色柄等 帯電性 備考 A種 カットバイル ウルトンカーベットの 無地 適用する (性能: ※人体帯電圧 3kv以下) B種 ループバイル ダブルフェイスクーベットの (標準品) C種 カット、ループ併用 フォキシスターカーベットの 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm		伊南行政組合 工事名 有害物等一時保管倉庫建設工事 年月日 H29. 10. 23 図面名称 特記仕様書 (7) 図面番号 7 検印欄

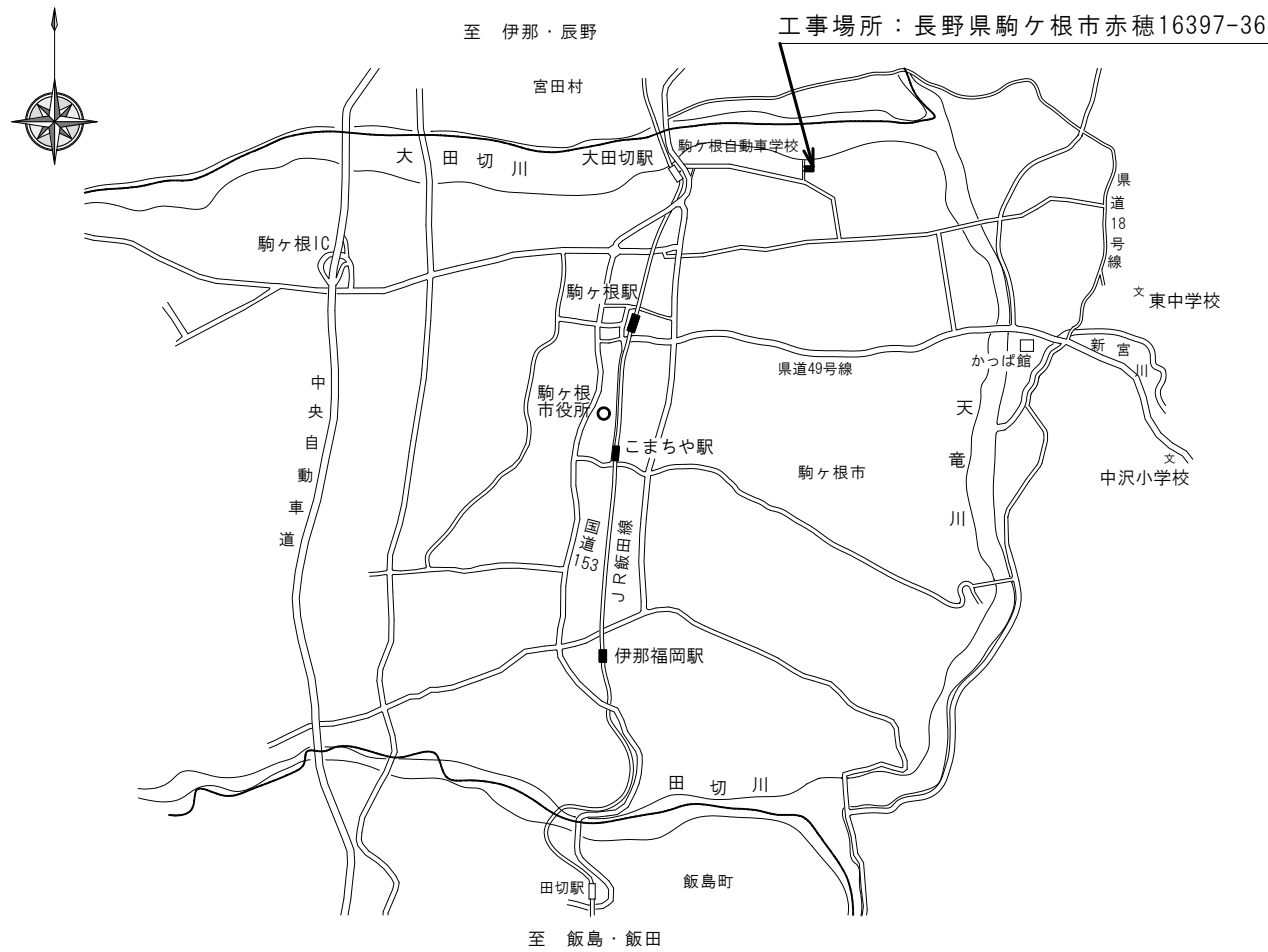
章	項目	特記事項																																																																										
9. 内装工事	9. 畳敷き	<p>複合フローリング</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ/大きさ (mm)</th> <th>種別</th> <th>防湿処理</th> <th>塗装仕上げ</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">天然木化粧複合フローリング</td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td>※なら</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・A種 ・B種 ※C種</td> <td rowspan="2">・適用する ・適用しない</td> <td rowspan="2">・塗装品 ・無塗装品</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・釘留め工法 (直張り)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・接着工法</td> <td>※なら</td> <td>板厚 ・8以上 板幅 ・75以上 板長さ 900以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 接着工法の場合の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ ・行う (施工箇所) ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・行わない</p> <p>(19. 6. 2) (表 19. 6. 1)</p> <p>種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12. 6. 1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン)</p> <p>畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>(19. 7. 2, 3) (表 19. 7. 1)</p>	種類	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の適用	天然木化粧複合フローリング	・釘留め工法 (根太張り)	※なら		・A種 ・B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品		・釘留め工法 (直張り)			・接着工法	※なら	板厚 ・8以上 板幅 ・75以上 板長さ 900以上																																																				
		種類	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の適用																																																																			
		天然木化粧複合フローリング	・釘留め工法 (根太張り)	※なら		・A種 ・B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品																																																																				
			・釘留め工法 (直張り)																																																																									
			・接着工法	※なら	板厚 ・8以上 板幅 ・75以上 板長さ 900以上																																																																							
		10. せっこうボードその他のボード張り	10. せっこうボードその他のボード張り	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>JIS 記号</th> <th>厚さ (mm)、規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・硬質木毛セメント板</td> <td>HW</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・中質木毛セメント板</td> <td>MW</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・普通木毛セメント板</td> <td>NW</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板</td> <td>HF</td> <td>・12 ・15 ・18 ・21</td> </tr> <tr> <td>・普通木片セメント板</td> <td>NF</td> <td>・30</td> </tr> <tr> <td>・けい酸カルシウム板</td> <td>0. 8FK 1. 0FK</td> <td>タイプ 2 (無石綿) ・6 ・8</td> </tr> <tr> <td>・ロックウール化粧吸音板</td> <td>DR</td> <td>・フラットタイプ (・9(不燃) ・12(不燃)) ・凹凸タイプ (・12(不燃) ・15(不燃) ・19(不燃))</td> </tr> <tr> <td>・ロックウール吸音ボード1号</td> <td>RW-B</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・グラスウール吸音ボード32K</td> <td>GW-B</td> <td>・25 (ガラスクロス包)</td> </tr> <tr> <td>・せっこうボード</td> <td>GB-B</td> <td>※12. 5 (不燃) ・15 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・不燃積層せっこうボード</td> <td>GB-NC</td> <td>9. 5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)</td> </tr> <tr> <td>・シージングせっこうボード</td> <td>GB-S</td> <td>12. 5 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・強化せっこうボード</td> <td>GB-F</td> <td>・12. 5 (不燃) ・15 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・せっこうラスボード</td> <td>GB-L</td> <td>9. 5</td> </tr> <tr> <td>・化粧せっこうボード (木目)</td> <td>GB-D</td> <td>12. 5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 柎目 ・ 板目) 専用下地材有り</td> </tr> <tr> <td>・化粧せっこうボード (トラバーチン模様)</td> <td>GB-D</td> <td>9. 5 (準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・普通合板</td> <td></td> <td>表面の材種 生地、透明塗料塗り (※ツツ程度) 不透明塗料塗り (※しな程度) 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・防虫処理 難燃処理 ・防火処理</td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td></td> <td>樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類) 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理</td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板</td> <td></td> <td>化粧加工の方法 (・オーナメント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1類 ・2類) 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理</td> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂化粧板</td> <td></td> <td>JIS K 6903 による (※1. 2)</td> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂化粧板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ミディアムデンシティファイバーボード</td> <td>MDF</td> <td>・3 ・7 ・9 ・12</td> </tr> <tr> <td>・単板張りパーティクルボード</td> <td></td> <td>・無研磨板 VN ・研磨板 VS ・10 ・12 ・15 ・18</td> </tr> </tbody> </table>	種類	JIS 記号	厚さ (mm)、規格等	・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25	・中質木毛セメント板	MW	・15 ・20 ・25	・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25	・硬質木片セメント板	HF	・12 ・15 ・18 ・21	・普通木片セメント板	NF	・30	・けい酸カルシウム板	0. 8FK 1. 0FK	タイプ 2 (無石綿) ・6 ・8	・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ (・9(不燃) ・12(不燃)) ・凹凸タイプ (・12(不燃) ・15(不燃) ・19(不燃))	・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・25	・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	・25 (ガラスクロス包)	・せっこうボード	GB-B	※12. 5 (不燃) ・15 (不燃)	・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9. 5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)	・シージングせっこうボード	GB-S	12. 5 (不燃)	・強化せっこうボード	GB-F	・12. 5 (不燃) ・15 (不燃)	・せっこうラスボード	GB-L	9. 5	・化粧せっこうボード (木目)	GB-D	12. 5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 柎目 ・ 板目) 専用下地材有り	・化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	9. 5 (準不燃)	・普通合板		表面の材種 生地、透明塗料塗り (※ツツ程度) 不透明塗料塗り (※しな程度) 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・防虫処理 難燃処理 ・防火処理	・天然木化粧合板		樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類) 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理	・特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 (・オーナメント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1類 ・2類) 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理	・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による (※1. 2)	・メラミン樹脂化粧板			・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・3 ・7 ・9 ・12	・単板張りパーティクルボード		・無研磨板 VN ・研磨板 VS ・10 ・12 ・15 ・18
				種類	JIS 記号	厚さ (mm)、規格等																																																																						
				・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25																																																																						
				・中質木毛セメント板	MW	・15 ・20 ・25																																																																						
				・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25																																																																						
・硬質木片セメント板	HF			・12 ・15 ・18 ・21																																																																								
・普通木片セメント板	NF			・30																																																																								
・けい酸カルシウム板	0. 8FK 1. 0FK			タイプ 2 (無石綿) ・6 ・8																																																																								
・ロックウール化粧吸音板	DR			・フラットタイプ (・9(不燃) ・12(不燃)) ・凹凸タイプ (・12(不燃) ・15(不燃) ・19(不燃))																																																																								
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B			・25																																																																								
・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	・25 (ガラスクロス包)																																																																										
・せっこうボード	GB-B	※12. 5 (不燃) ・15 (不燃)																																																																										
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9. 5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)																																																																										
・シージングせっこうボード	GB-S	12. 5 (不燃)																																																																										
・強化せっこうボード	GB-F	・12. 5 (不燃) ・15 (不燃)																																																																										
・せっこうラスボード	GB-L	9. 5																																																																										
・化粧せっこうボード (木目)	GB-D	12. 5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 柎目 ・ 板目) 専用下地材有り																																																																										
・化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	9. 5 (準不燃)																																																																										
・普通合板		表面の材種 生地、透明塗料塗り (※ツツ程度) 不透明塗料塗り (※しな程度) 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・防虫処理 難燃処理 ・防火処理																																																																										
・天然木化粧合板		樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類) 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理																																																																										
・特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 (・オーナメント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1類 ・2類) 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理																																																																										
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による (※1. 2)																																																																										
・メラミン樹脂化粧板																																																																												
・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・3 ・7 ・9 ・12																																																																										
・単板張りパーティクルボード		・無研磨板 VN ・研磨板 VS ・10 ・12 ・15 ・18																																																																										

11. 壁紙張り	<p>せっこうボード等の下地は図示による。</p> <p>遮音シール材 ・適用する (・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) ・適用しない</p> <p>合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 合板類の張付け ※B種 ・A種 せっこうボードの目地工法 ・仕上げ表による</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (19. 8. 2, 3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="5">壁紙の種類</th> <th rowspan="2">防火種別</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>紙</th> <th>繊維</th> <th>プラスチック</th> <th>無機質</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>モルタル・プラスター面の素地ごしらえ ※B種 ・A種 コンクリート・ALC面の素地ごしらえ ※B種 ・A種 せっこうボード面の素地ごしらえ ※B種 ・A種</p> <p>(19. 9. 2, 3)</p> <p>ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法[※]ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出法[※]ポリスチレンフォーム断熱材 (スチンなし)</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム断熱材</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ビーズ法[※]ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出法[※]ポリスチレンフォーム保温材 (スチンなし)</td> <td>・保温板 (2種b) ・25 ・保温板 (3種b) ・25</td> <td>・接地部分</td> </tr> <tr> <td>・A種硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・B種1 厚さ (mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示 ・現場発泡断熱材 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による</p> <p>材種 ※ 信州産唐松 (信州木材認証製品又は同等品) ・ 信州産杉 (信州木材認証製品又は同等品)</p>	施工箇所	壁紙の種類					防火種別	備考	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他		・	・	・	・	・	・不燃・準不燃			・	・	・	・	・	・不燃・準不燃			・	・	・	・	・	・不燃・準不燃		種類	厚さ (mm)	施工箇所	・ビーズ法 [※] ポリスチレンフォーム断熱材	・		・押出法 [※] ポリスチレンフォーム断熱材 (スチンなし)	・		・硬質ウレタンフォーム断熱材	・		・フェノールフォーム断熱材	・		・ビーズ法 [※] ポリスチレンフォーム保温材	・		・押出法 [※] ポリスチレンフォーム保温材 (スチンなし)	・保温板 (2種b) ・25 ・保温板 (3種b) ・25	・接地部分	・A種硬質ウレタンフォーム保温材	・		・フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)	・	
	施工箇所		壁紙の種類							防火種別	備考																																																						
		紙	繊維	プラスチック	無機質	その他																																																											
		・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																																										
		・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																																										
		・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																																										
	種類	厚さ (mm)	施工箇所																																																														
	・ビーズ法 [※] ポリスチレンフォーム断熱材	・																																																															
	・押出法 [※] ポリスチレンフォーム断熱材 (スチンなし)	・																																																															
	・硬質ウレタンフォーム断熱材	・																																																															
・フェノールフォーム断熱材	・																																																																
・ビーズ法 [※] ポリスチレンフォーム保温材	・																																																																
・押出法 [※] ポリスチレンフォーム保温材 (スチンなし)	・保温板 (2種b) ・25 ・保温板 (3種b) ・25	・接地部分																																																															
・A種硬質ウレタンフォーム保温材	・																																																																
・フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)	・																																																																
12. 断熱材	<p>1. フリーアクセスフロア (20. 2. 2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重 (N)</th> <th>表面仕上げ材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・置敷式 ・支柱調整式</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・500×500</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・1. 0G</td> <td>・3000</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルバット</td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> <td>・0. 6G</td> <td>・5000</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・置敷式 ・支柱調整式</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・500×500</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・1. 0G</td> <td>・3000</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルバット</td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> <td>・0. 6G</td> <td>・5000</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・置敷式 ・支柱調整式</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・500×500</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・1. 0G</td> <td>・3000</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルバット</td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> <td>・0. 6G</td> <td>・5000</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>寸法精度 ※標準仕様書20. 2. 2(b) (5) (i)～(iii)による 厚さ ±0. 5mm 平坦度 パネル周辺部 1. 0mm以下 図心と各頂点を結ぶ線上部 2. 0mm以下</p> <p>表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書19章による。</p>	施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重 (N)	表面仕上げ材	備考	・置敷式 ・支柱調整式	・	・500×500	・	・1. 0G	・3000	・帯電防止床タイル ・タイルバット	・	・0. 6G	・5000	・	・置敷式 ・支柱調整式	・	・500×500	・	・1. 0G	・3000	・帯電防止床タイル ・タイルバット	・	・0. 6G	・5000	・	・置敷式 ・支柱調整式	・	・500×500	・	・1. 0G	・3000	・帯電防止床タイル ・タイルバット	・	・0. 6G	・5000	・																							
	施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重 (N)	表面仕上げ材	備考																																																									
	・置敷式 ・支柱調整式	・	・500×500	・	・1. 0G	・3000	・帯電防止床タイル ・タイルバット	・																																																									
					・0. 6G	・5000	・																																																										
	・置敷式 ・支柱調整式	・	・500×500	・	・1. 0G	・3000	・帯電防止床タイル ・タイルバット	・																																																									
					・0. 6G	・5000	・																																																										
	・置敷式 ・支柱調整式	・	・500×500	・	・1. 0G	・3000	・帯電防止床タイル ・タイルバット	・																																																									
					・0. 6G	・5000	・																																																										
	13. 単板羽目板張り	<p>20 ユニット及びその他の工事</p>																																																															

2. 可動間仕切り可動間仕切り	<p>構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 (仕上げ:) スロープ及びボーダー ・製造所の仕様による ・図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ・20～30パーセント 配線取り出し開口 ・パネル1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上 ・図示 空調用吹き出し (吸い込み) パネル ・なし ・あり (形式、施工箇所: 図示) (性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による</p> <p>(20. 2. 3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造形式</th> <th colspan="2">構成基材の種類</th> <th rowspan="2">総厚さ (mm)</th> <th colspan="3">表面仕上材</th> <th rowspan="2">遮音性 (db/500Hz)</th> <th rowspan="2">防火性能</th> </tr> <tr> <th>スタッド</th> <th>パネル</th> <th>材質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>パネル表面仕上げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・スタッド式 (内蔵)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・鋼板</td> <td>・0. 6</td> <td>・メラミン樹脂</td> <td>・0</td> <td>・不燃</td> </tr> <tr> <td>・スタッド式 (露出)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・0. 8</td> <td>・焼付又は ・アクリル樹脂焼</td> <td>・12</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・パネル式</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・アクリル樹脂焼</td> <td>・20</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・スタッドパネル式</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・壁紙張り</td> <td>・28</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・36</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル内に取付ける建具 ・あり (※図示) ・なし 表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による</p> <p>(20. 2. 4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造形式</th> <th rowspan="2">操作方法</th> <th rowspan="2">圧縮装置の操作方法</th> <th rowspan="2">総厚さ (mm)</th> <th colspan="2">表面仕上材</th> <th rowspan="2">遮音性 (db/500Hz)</th> </tr> <tr> <th>材質</th> <th>パネル表面仕上げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・平行方向 移動式</td> <td>・手動式</td> <td>・プッシュ式</td> <td>・</td> <td>・鋼板</td> <td>・焼付塗装</td> <td>・36未満</td> </tr> <tr> <td>・二方向 移動式</td> <td>・電動式</td> <td>・ハンドル式</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・壁紙張り</td> <td>・36以上</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・部分電動式</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ・図示</p> <p>(品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による</p> <p>(20. 2. 5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">表面材の種類</th> <th colspan="2">脚部</th> <th colspan="2">ドアエッジ</th> </tr> <tr> <th>形状</th> <th>形状</th> <th>材質</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板</td> <td>※輪木タイプ</td> <td>・標準</td> <td>・アルミニウム製</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>・</td> <td>・R</td> <td>・ステンレス製</td> <td>・表面材と同材</td> </tr> </tbody> </table> <p>(品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による</p> <p>(11. 2. 2) (19. 2. 2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">屋内</td> <td>・塩化ビニル製</td> <td>・300×300</td> <td>・7. 0</td> </tr> <tr> <td>・磁器質タイル・せっ器質タイル</td> <td>・300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・レジンコンクリート製・コンクリート製</td> <td>・300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内</td> <td>・磁器質タイル・せっ器質タイル</td> <td>・300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・レジンコンクリート製・コンクリート製</td> <td>・300×300</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>ブロックパターンは JIS T 9251 による</p> <p>(20. 2. 6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>幅 (mm)</th> <th>取付け工法</th> <th>端部フラットエンド</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ステンレス製 (SUS304) ビニル</td> <td>・約35</td> <td>※接着工法</td> <td>・あり ・ビニル製</td> </tr> <tr> <td>・タイヤ入り</td> <td>・</td> <td>・埋込み工法</td> <td>・ステンレス製 ・なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>7. 手すり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・集成材</td> <td>・クリアラッカー</td> <td>・35 ・45</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレスパイプ</td> <td>・HL</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鋼製パイプ</td> <td>・EPG ・SOP</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ビニル製ハンドレール</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	構造形式	構成基材の種類		総厚さ (mm)	表面仕上材			遮音性 (db/500Hz)	防火性能	スタッド	パネル	材質	厚さ (mm)	パネル表面仕上げ	・スタッド式 (内蔵)	・	・	・	・鋼板	・0. 6	・メラミン樹脂	・0	・不燃	・スタッド式 (露出)	・	・	・	・	・0. 8	・焼付又は ・アクリル樹脂焼	・12	・	・パネル式	・	・	・	・	・	・アクリル樹脂焼	・20	・	・スタッドパネル式	・	・	・	・	・	・壁紙張り	・28	・	・	・	・	・	・	・	・	・36	・	構造形式	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ (mm)	表面仕上材		遮音性 (db/500Hz)	材質	パネル表面仕上げ	・平行方向 移動式	・手動式	・プッシュ式	・	・鋼板	・焼付塗装	・36未満	・二方向 移動式	・電動式	・ハンドル式	・	・	・壁紙張り	・36以上	・	・部分電動式	・	・	・	・	・	表面材の種類	脚部		ドアエッジ		形状	形状	材質	材質	・メラミン樹脂系化粧板	※輪木タイプ	・標準	・アルミニウム製	・	・ポリエステル樹脂系化粧板	・	・R	・ステンレス製	・表面材と同材	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・塩化ビニル製	・300×300	・7. 0	・磁器質タイル・せっ器質タイル	・300×300	・	・レジンコンクリート製・コンクリート製	・300×300	・	屋内	・磁器質タイル・せっ器質タイル	・300×300	・	・レジンコンクリート製・コンクリート製	・300×300	・	材種	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド	・ステンレス製 (SUS304) ビニル	・約35	※接着工法	・あり ・ビニル製	・タイヤ入り	・	・埋込み工法	・ステンレス製 ・なし	材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考	・集成材	・クリアラッカー	・35 ・45			・ステンレスパイプ	・HL				・鋼製パイプ	・EPG ・SOP				・ビニル製ハンドレール	・			
	構造形式		構成基材の種類			総厚さ (mm)	表面仕上材				遮音性 (db/500Hz)	防火性能																																																																																																																																																											
		スタッド	パネル	材質	厚さ (mm)		パネル表面仕上げ																																																																																																																																																																
	・スタッド式 (内蔵)	・	・	・	・鋼板	・0. 6	・メラミン樹脂	・0	・不燃																																																																																																																																																														
	・スタッド式 (露出)	・	・	・	・	・0. 8	・焼付又は ・アクリル樹脂焼	・12	・																																																																																																																																																														
	・パネル式	・	・	・	・	・	・アクリル樹脂焼	・20	・																																																																																																																																																														
	・スタッドパネル式	・	・	・	・	・	・壁紙張り	・28	・																																																																																																																																																														
	・	・	・	・	・	・	・	・36	・																																																																																																																																																														
	構造形式	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ (mm)	表面仕上材		遮音性 (db/500Hz)																																																																																																																																																																
					材質	パネル表面仕上げ																																																																																																																																																																	
・平行方向 移動式	・手動式	・プッシュ式	・	・鋼板	・焼付塗装	・36未満																																																																																																																																																																	
・二方向 移動式	・電動式	・ハンドル式	・	・	・壁紙張り	・36以上																																																																																																																																																																	
・	・部分電動式	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																	
表面材の種類	脚部		ドアエッジ																																																																																																																																																																				
	形状	形状	材質	材質																																																																																																																																																																			
・メラミン樹脂系化粧板	※輪木タイプ	・標準	・アルミニウム製	・																																																																																																																																																																			
・ポリエステル樹脂系化粧板	・	・R	・ステンレス製	・表面材と同材																																																																																																																																																																			
施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																																																																																																																				
屋内	・塩化ビニル製	・300×300	・7. 0																																																																																																																																																																				
	・磁器質タイル・せっ器質タイル	・300×300	・																																																																																																																																																																				
	・レジンコンクリート製・コンクリート製	・300×300	・																																																																																																																																																																				
屋内	・磁器質タイル・せっ器質タイル	・300×300	・																																																																																																																																																																				
	・レジンコンクリート製・コンクリート製	・300×300	・																																																																																																																																																																				
材種	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド																																																																																																																																																																				
・ステンレス製 (SUS304) ビニル	・約35	※接着工法	・あり ・ビニル製																																																																																																																																																																				
・タイヤ入り	・	・埋込み工法	・ステンレス製 ・なし																																																																																																																																																																				
材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考																																																																																																																																																																			
・集成材	・クリアラッカー	・35 ・45																																																																																																																																																																					
・ステンレスパイプ	・HL																																																																																																																																																																						
・鋼製パイプ	・EPG ・SOP																																																																																																																																																																						
・ビニル製ハンドレール	・																																																																																																																																																																						
6. 階段滑り止め	6. 階段滑り止め	<p>伊南行政組合</p>																																																																																																																																																																					
		<p>工 事 名 有害物等一時保管倉庫建設工事</p> <p>年 日 H29. 10. 23</p>																																																																																																																																																																					
		<p>図面名称 特記仕様書 (8)</p> <p>図面番号 8</p>																																																																																																																																																																					

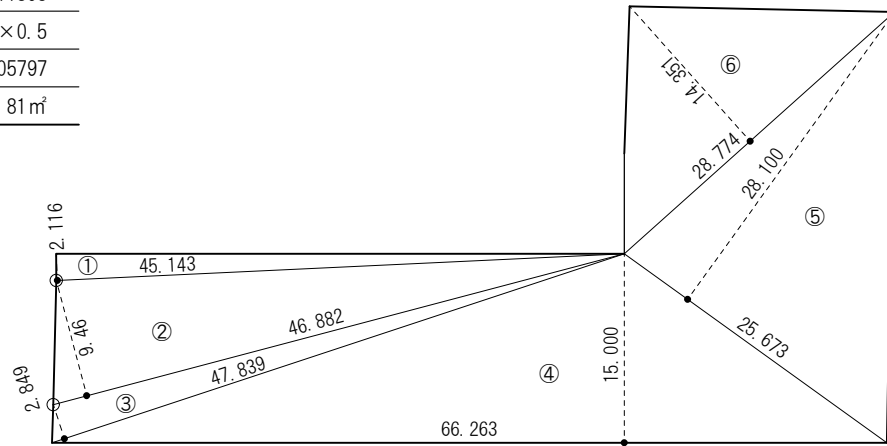
23 植栽及び屋上緑化工事	6. 支柱	(23. 3. 2、3) 支柱材 ※ 丸太（間伐材） ・ 真竹 防腐処理方法 ※ 加圧式防腐処理丸太材 ・ 形式 ・ 図示 ・	25 その他	1. 工事現場の環境改善について	工事現場のイメージアップ ・ 仮囲い周辺の美化 ・ 長野県看板（アルクマ等）の設置			
	7. 幹巻き用材料	(23. 3. 2) 材料 ※ 幹巻き用テープ ・ わら及びこも		地域住民への情報提供 ・ 完成予想図の設置 ・ 情報掲示板の設置 ・ パンフレットの作成				
	8. 芝	(23. 4. 2、3) 種類 ※ コウライシバ ・ ノシバ ・ 芝張りの工法 平地 ※ 目地張り ・ べた張り 法面 ・ 目地張り ※ べた張り	② 不具合の確認	地域住民とのコミュニケーション ・ 現場見学会の開催 ・	住民に対する災害防止関係 ・ 現場出入口周辺への誘導員の配備 ・			
	9. 吹付けは種	(23. 4. 2) 種子の種類 発芽率 種子の量 (g/m ²) 備考 ※ 洋芝類（採取後2年以内） ※ 発芽率80%以上		工事しゅん工後3ヶ月、12ヶ月に不具合の確認を行い、その結果を書面で事務局長あて報告する。 (施設管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず施設管理者の立会いを要する。)				
	10. 地被類	(23. 4. 2) 樹種 コンテナ径 単位面積当たりのコンテナ数 芽立数						
	11. 新植、移植樹木、芝等の枯保証	(23. 3. 4、6) (23. 4. 7) 新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間 ※ 引渡しの日から1年 ・ 無し 移植樹木の枯損処置を行う期間 ※ 引渡しの日から1年 ・ 無し						
	12. 屋上緑化	(23. 5. 2、3) 植栽基盤及び材料 ・ 屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・ 図示 ・ 排水層 ・ 軽量骨材（層の厚さ： ） ・ 板状成型品 植込み用土 ※ 改良土 ・ 人工軽量土 樹木の樹種並びに種類、寸法、株立数、寸法等 ※ 図示 ・ 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※ 図示 ・ (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による ・ 屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※ 図示 ・ 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※ 図示 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による 工法 (23. 5. 4) 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※ 適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法） ・ 適用しない 支柱 ・ 設置する（形式 ・ 図示 ・ ） かん水装置 ・ 設置する（種類 ・ ）						
24 プレハブ工法工事	① 構造	※ 軽量鉄骨造 ・ 鉄筋コンクリート造 ・ その他						
	② 製品・製造所	設計基準としている、プレハブ工法製品及び製造所 ※ SG-358GUN-4 (株)稲葉製作所						
	③ 同種同等品	設計基準製品と同種同等品と取換うことができる製品及び製造所 ○ HHK-4031相当 (株)カクイチ ○ LPS-5974-20相当 (株)淀川製鋼所 ○ その他 監督員の承諾を受けた製品及び製造所						
	④ 建築確認申請等の手続き	同種同等品の採用で「建築確認済証」等の内容に変更が発生する場合 ※ 工事請負者の負担にて、法令等に係る手続き一式を行う。また手数料についても負担する。 ※ 建築主の代理人は、協議の上定める。						
伊南行政組合						検印欄		
工事名 有害物等一時保管倉庫建設工事				年月日 H29・10・23				
図面名称 特記仕様書（11）				図面番号 11				

案内図



敷地面積計算書

符号	底辺(m)	高さ(m)	面積(m ²)
①	45.143	2.116	95.522588
②	46.882	9.46	443.503720
③	47.839	2.849	136.293311
④	66.263	15.000	993.945000
⑤	25.673	28.100	721.411300
⑥	28.774	14.351	412.935674
倍面積計			2,803.611593
			×0.5
地積			1,401.805797
敷地面積			1,401.81m ²



敷地求積図 S=1/600

建物概要

建物番号	種別	建築面積	延べ面積	構造	階数	備考
建物1(申請建物)	新築	69.68m ²	69.68m ²	軽量鉄骨造	1	倉庫
既存建物	既存	108.96m ²	133.44m ²	RC造	2	倉庫、H29年度内に除却予定。別途事業

建物1 建築面積計算書

記号	X方向(m)	Y方向(m)	係数	面積(m ²)	建築面積求積図 S=1/300
⑦	12.140	5.740	1.0	69.6836	
合計				69.6836	
摘要					

建物1 床面積計算書

階	記号	X方向(m)	Y方向(m)	係数	面積(m ²)	床面積求積図 S=1/300
1	⑦	12.140	5.740	1.0	69.6836	
合計				69.6836		
摘要						

既存建物 建築面積計算書

記号	X方向(m)	Y方向(m)	係数	面積(m ²)	建築面積求積図 S=1/300
⑦	3.300	3.600	1.0	11.8800	
④	6.800	7.700	1.0	52.3600	
⑤	5.200	8.600	1.0	44.7200	
合計				108.9600	
摘要					

既存建物 床面積計算書

階	記号	X方向(m)	Y方向(m)	係数	面積(m ²)	床面積求積図 S=1/300
2	⑦	6.800	7.700	1.0	52.3600	
合計				52.3600		
摘要						

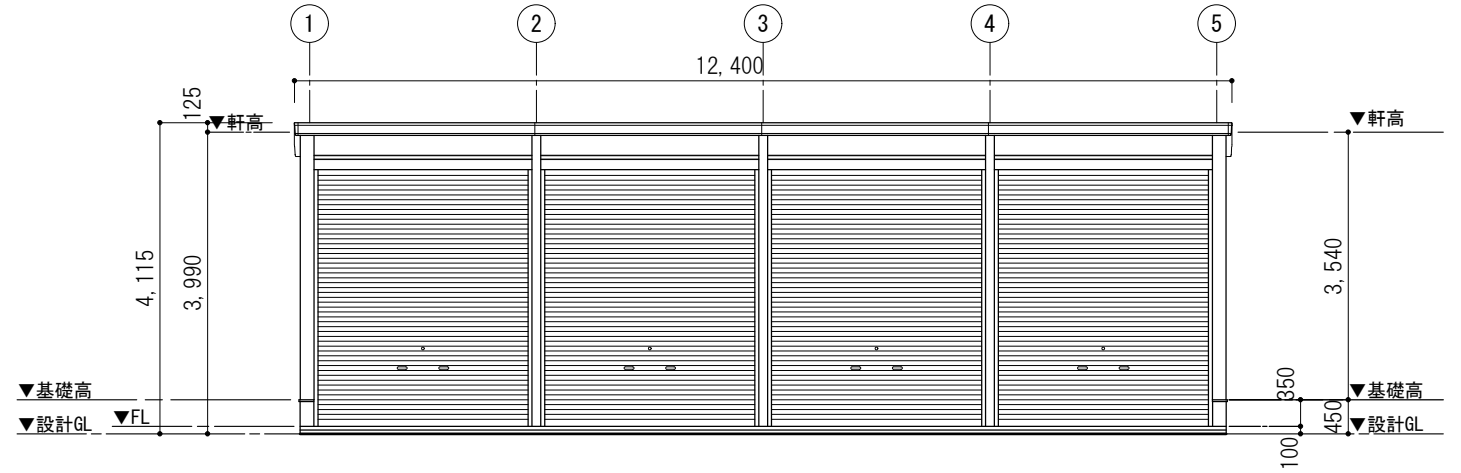
階	記号	X方向(m)	Y方向(m)	係数	面積(m ²)	床面積求積図 S=1/300
1	⑦	10.100	3.600	1.0	36.3600	
	④	5.200	8.600	1.0	44.7200	
合計				81.0800		
摘要						

仕上げ表 (外部)

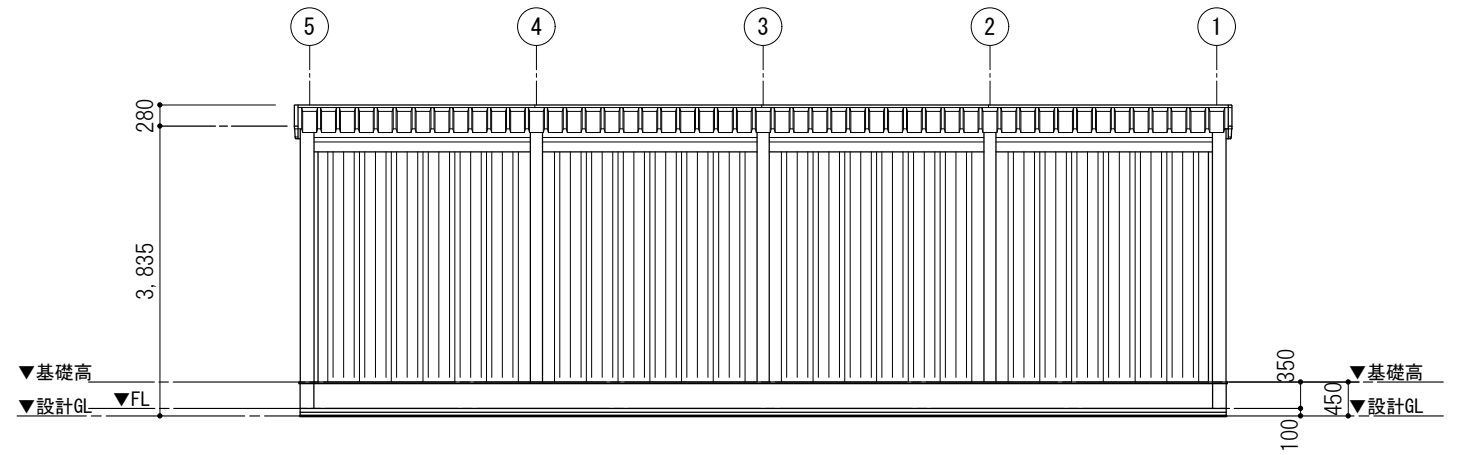
屋根	塗装溶融55%AL-Zn合金めっき鋼板(t0.8)・折板
	桁後幕板 同上
	梁左右幕板 溶融Zn-5%AL合金めっき鋼板(t0.7)
	妻板左右 同上
	鼻隠シ前 同上
	雨樋セット
外壁	融亜鉛めっき鋼板(t0.5)・壁ハﾟ裨
	化粧柱 融亜鉛めっき鋼板(t1.0)
基礎	コンクリート打ち放し仕上げ
開口部	軽量スチールシャッター(t0.4)・ケース共 W2780×H3368(mm)

仕上げ表 (内部)

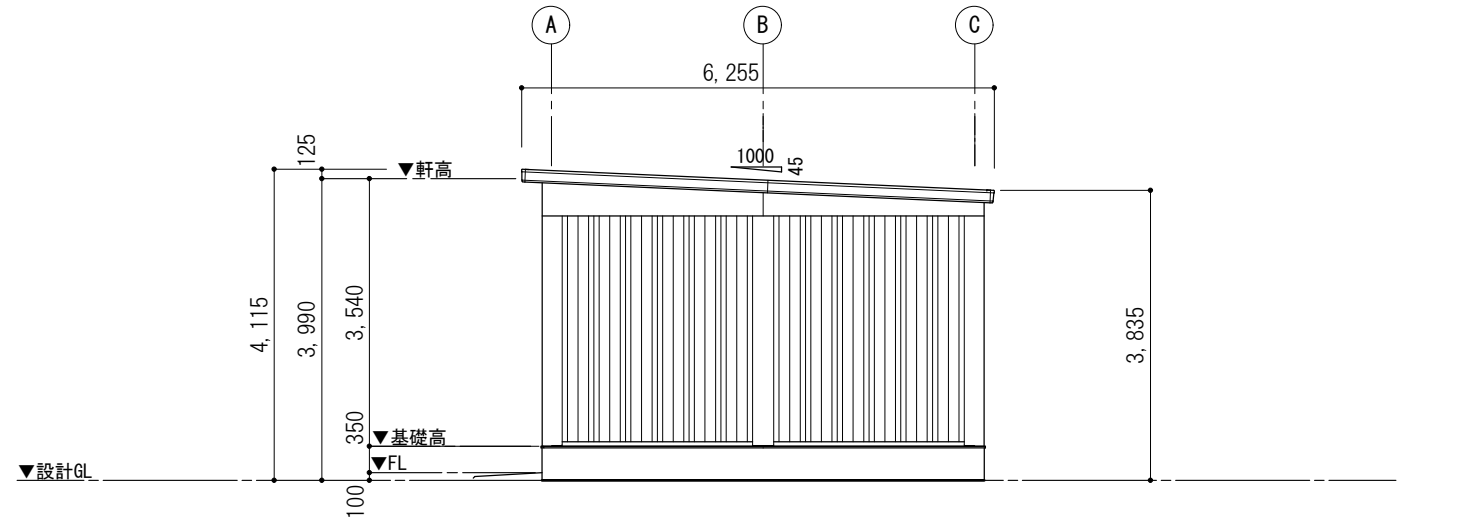
天井	屋根材あらわし(結露軽減材張り)
壁	外壁材・構造材あらわし 一部コンクリート打ち放し仕上げ
床	鉄筋コンクリート造土間・金鏝直均し仕上げ
その他	犬走: 鉄筋コンクリート造・金鏝直均し仕上げ
備考	プレハブ倉庫(軽量鉄骨造) 機種: イハ SG-358GU-4 積雪強度: 3000N/m ² (多雪地型)



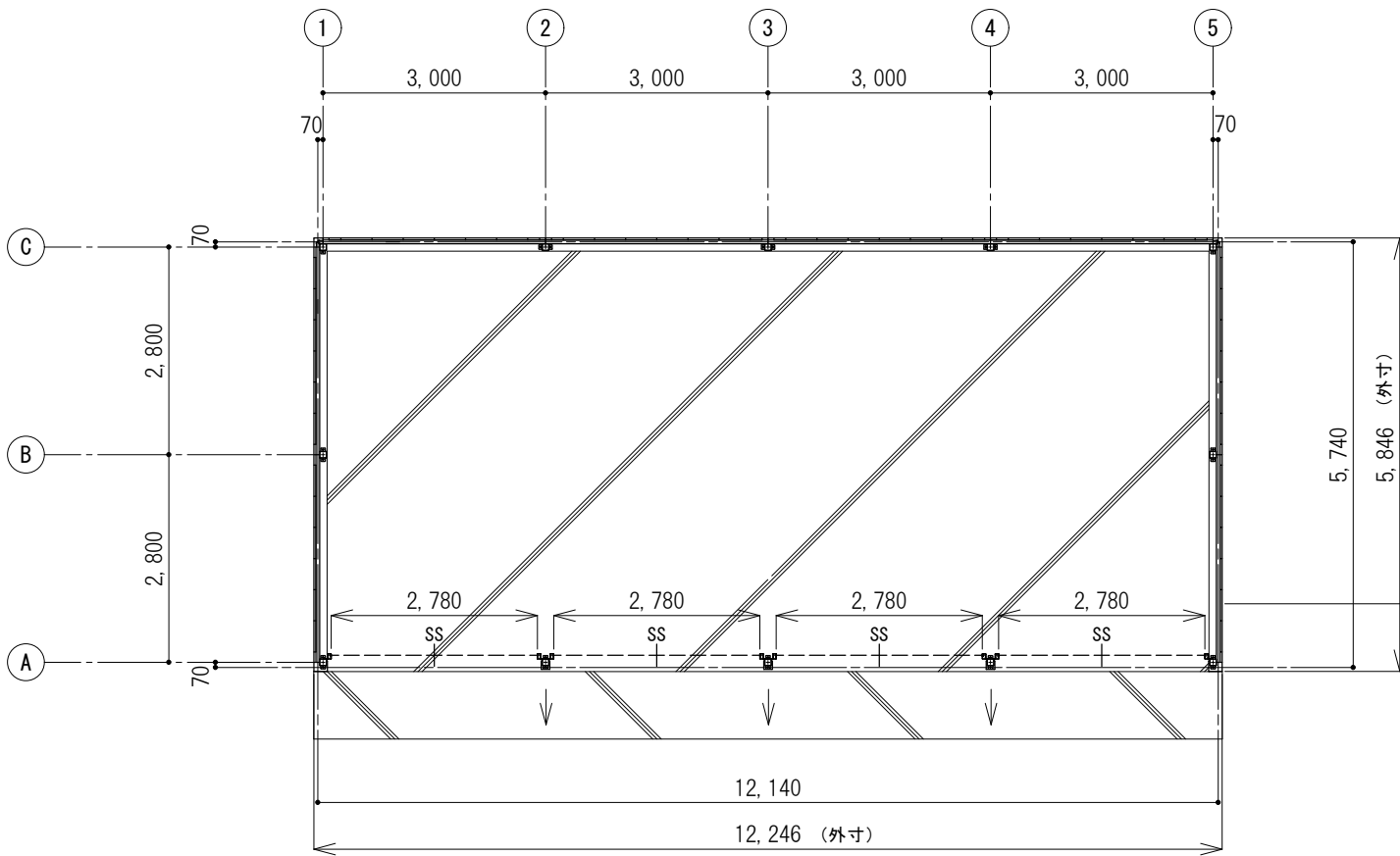
南立面図 (正面) S=1/100



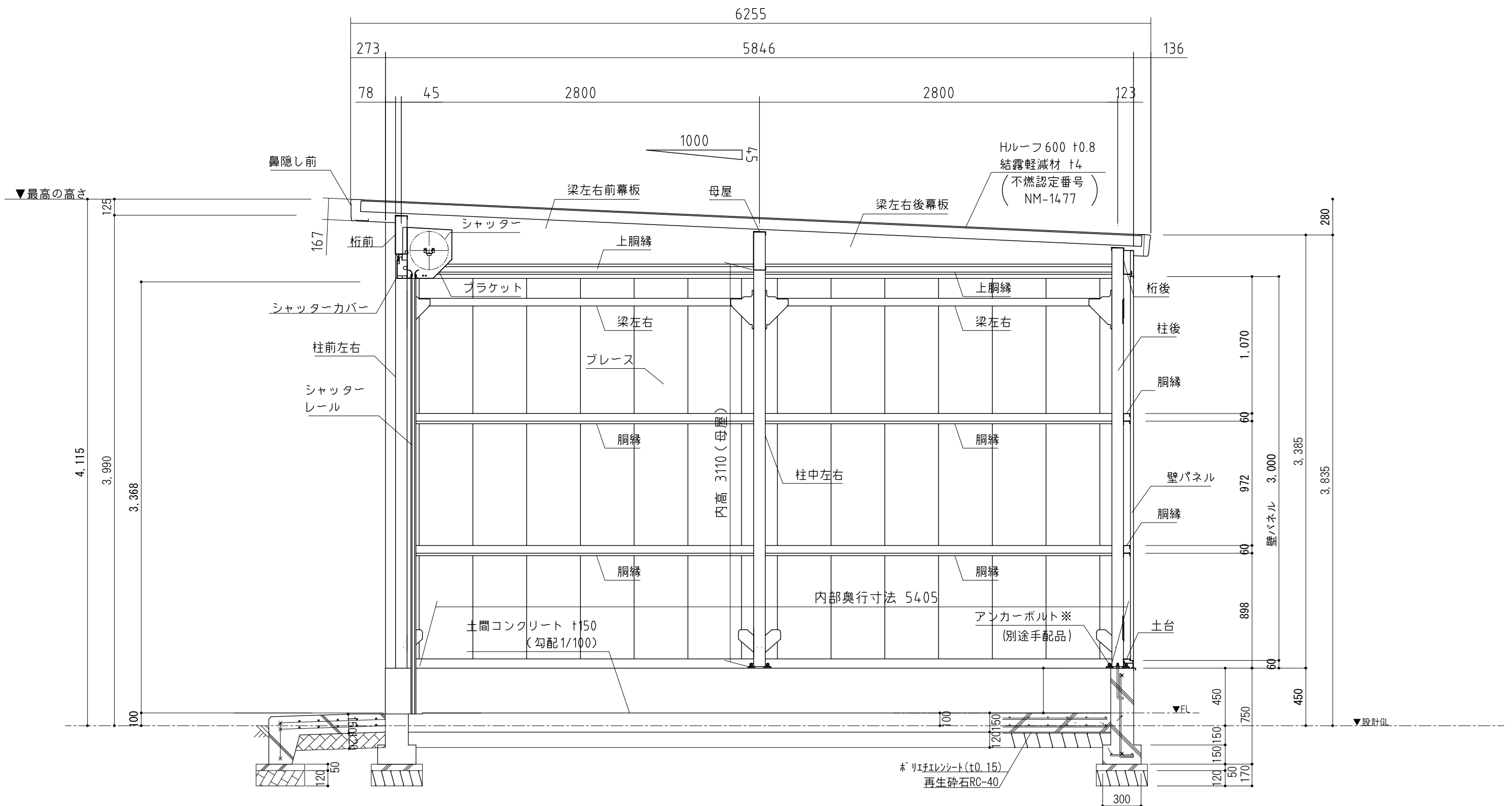
北立面図 (背面) S=1/100



東西立面図 (側面) S=1/100



平面図 S=1/100



矩 計 図 S=1/30

構造設計特記仕様

■印を適用する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 建築場所 駒ヶ根市赤穂16397-36
- (2) 工事種別 ■ 新築 □ 増築 □ 増改築 □ 改築
- (3) 構造種別
 - 木造 (W) □ 補強コンクリートブロック造 (CB) ■ 鉄骨造 (S)
 - 鉄筋コンクリート造 (RC) □ 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)
 - 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) □ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC)
 - プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC)
- (4) 階数 地下 __ 階 地上 1 階 塔屋 __ 階
- (5) 主要用途 倉庫
- (6) 屋上付属物
- (7) 特別な荷重
- (8) 付帯工事
 - 門塀 □ 擁壁 □ 駐輪場 □ 機械式駐車場
- (9) 増築計画 □ 有 () ■ 無
- (10) 構造計算ルート X・Y方向共 ルート1-2

2. 使用構造材料一覧表

適用箇所	種類	設計基準強度 Fc=N/mm ²	品質管理強度 Fq=N/mm ²	スランプ cm	備考
ラップコンクリート	■普通	18	18	15	
捨てコンクリート	■普通	18	18	15	
土間コンクリート	□普通	21	24	18	
基礎・基礎梁	■普通	21	24	18	
柱・梁・床・壁	■普通 □軽量	21	24	18	比重
押えコンクリート	□普通 □軽量				比重
細骨材の種類	■砂 □山砂 □人口				
粗骨材の種類	■砂利 □砕石 □人口				
水の区分	■水道水 □地下水 □工業用水				
混和材の種類	■AE混和材 □高性能AE混和材				
呼び強度を保障する材齢	■28日 □56日				

- (2) コンクリートブロック (CB)
 - A種 ■ B種 □ C種 厚 ■ 100 □ 120 □ 150 □ 190

種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	■ SD295A	16以下	基礎
	□ SD295B		
	■ SD345	19以上	基礎
高強度せん断補強筋			□ ガス圧継手 径19以上の柱・梁の主筋 □ 特殊継手
丸鋼	□ SR235		()
溶接金網 (JIS G3551)			

種類	使用箇所	現場溶接	備考
■SS400 ■SN400	梁他	□有 ■無	
■STKR400 □STK400	鋼縁	□有 ■無	
■BCR295 □BCP235 □BCP325	柱	□有 ■無	
□SM490A ■SN490B ■SN490C	ﾀﾞｲﾔﾌﾗﾑ他	□有 ■無	
■SSC400	胴縁・折板受他	□有 ■無	

○使用箇所の詳細については別途図示とする。

- (5) ボルト
 - 高力ボルト
 - 2種 (■ 認定品 (■ M16 ■ M20 ■ M22 □ M24)
 - 高力ボルトすべり係数試験 □ 要 ■ 否
 - 高力ボルト導入張力確認試験 □ 要 ■ 否
 - アンカーボルト

- 頭付スタッドボルト
 - φ= L= mm 使用箇所 (□ 柱 □ 大梁 □ 小梁)

- (6) 屋根、床、壁
 - ALC版 壁厚 100
 - 折版 ボルトタイプ H=150 厚 0.8 mm
 - デッキプレート 型式 厚 mm
 - キーストンプレート 型式 厚 mm
 - 特殊デッキプレート QLデッキ (JFE建材)

3. 地盤

- (1) 地盤調査資料と調査計画
 - 有 (■ 敷地 □ 近隣) □ 無 (調査計画 □ 有 □ 無)

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	○		静的貫入試験			標準貫入試験	○	
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査		
試験掘(支持層の確認)			平板載荷試験			液化化判定		
ｽﾀｰﾃﾞﾝｼﾞ式ｸﾞﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ	○		現場透水試験			P S検査		

注) 上記表中の資料が有るもの、調査計画があるものに○を記入する。

- (2) 試験掘、土質構成 (基礎の位置を明記すること)

深度 (m)	土質	基礎高さ関係	備考
0			○ 調査地帯 別添地盤説明書による
1			○ レベル関係 別添地盤説明書による
2			○ 位置図 別添地盤説明書による
3			
4			○ 支持地盤、地層及び深さについてのコメント 別添地盤説明書による
5			
6			
7			
8			○ 孔内水位 別添地盤説明書による
9			
			○ 備考

注) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4. 地業工事

- (1) 直接基礎 □ ベタ基礎 □ 布基礎 ■ 独立基礎
 - 試験掘 ■ 有 □ 無
 - 深さ 基礎底面; GL-1.15m
 - 深さ 支持層; GL-2.5m~-6.4m (実状により変更あり)
 - 地盤改良 (柱状地盤改良); 基礎底面~支持層迄
 - 長期設計支持力; S-07による (基礎底面) (短期=長期×2)

- (2) 杭基礎支持層

杭種	材料	施工法	備考
□ RC □ PRC	PRC □ I種 □ II種 □ III種	□ 打ち込み	
□ PHC □ H鋼	PHC □ A種 □ B種 □ C種	□ 埋込み (セメントミルク工法)	
□ 鋼管 □ 摩擦杭	鋼材 □ SS400 □ STK400	□	認定 第 号
□ SC杭		□	年月日
□ 場所打ちコンクリート杭	コンクリート Fc N/mm ² スランプ セメント量 kg/m ³ 鉄筋 主筋 SD HOOP SD	□ オールケーシング □ 拡底杭 □ リバースサーキュレーション □ アースドリル □ ミニアース □ BH □ 深礎 □ 手掘 □ 機械掘	認定 第 号 年月日

杭仕様 □ 施工計画書承認 □ 杭施工結果報告書
試験杭 (□ 有 ・ □ 無) (□ 打ち込み ・ □ 載荷 ・ □ 孔壁測定) 本

杭径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項

5. 鉄筋コンクリート工事 (施行方法等計画書)

本標準仕様及びコンクリート構造配筋標準図は、コンクリートの設計基準強度 (Fc) が36N/mm²以下に適用する。

- (1) コンクリート
 - コンクリートはJIS認定工場の製品とし、施工に関しては、標準図に記載されている事項を除きJASS5による。
 - 耐久設計基準強度 Fd ■ 一般 □ 標準 □ 長期
 - セメントは、JIS R5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
 - 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
 - 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
 - フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。
 - 測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
 - 構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験供試体(JASS 5T-603)は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。
 - また、打ち込み量が150m³をこえる場合は150³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。
 - ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分以内、25℃以上の場合は120分以内とする。

- (2) 鉄筋
 - 鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。施行は、標準図に記載されている事項を除き、JASS 5による。
 - 高強度せん断補強筋は、JIS G3137に規定されるD種1号適合品とする。
 - 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図」による。

- D19未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D19以上) をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
- ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所を超えるときは、200箇所ごと)に1回行い、1回の試験は5本以上とする。
- 外観検査 □ 有 □ 無、引張試験 □ 有 □ 無、超音波探傷試験 □ 有 □ 無
- 柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、■ H型 (タガ型) □ W型 (溶接型) □ S型 (スパイラル型) とする。
- コンクリート及び鉄筋の試験は原則として工事監理者の承認を得た第三者検査機関とする。

- (3) 型枠
 - 材料 合板厚12mmを標準とする。
 - 施行 JASS 5による。
 - 型枠存置期間

種類 部位	せき板				支柱			
	基礎、はり側、柱、壁	スラブ下、はり下	スラブ下		スラブ下		はり下	
セメントの種類	早強* ﾎﾞﾄﾗﾝﾄﾞセﾐﾄ	普通* ﾎﾞﾄﾗﾝﾄﾞセﾐﾄ	早強* ﾎﾞﾄﾗﾝﾄﾞセﾐﾄ	普通* ﾎﾞﾄﾗﾝﾄﾞセﾐﾄ	早強* ﾎﾞﾄﾗﾝﾄﾞセﾐﾄ	普通* ﾎﾞﾄﾗﾝﾄﾞセﾐﾄ	早強* ﾎﾞﾄﾗﾝﾄﾞセﾐﾄ	
		高炉セメントA種		高炉セメントA種		高炉セメントA種	普通* ﾎﾞﾄﾗﾝﾄﾞセﾐﾄ	
		シリカセメントA種		シリカセメントA種		シリカセメントA種	高炉セメントA種	
存置期間の平均気温	15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
	5℃~15℃	3	5	6	10	12	25	28
	5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	5.0N/mm ²		設計基準強度の50%		設計基準強度の85%		100%	

- 注) 1 片持ばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
- 注) 2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
- 注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
- 注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
- 注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
- 注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事 (施行方法等計画書)

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
 - 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
 - 社)日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
 - 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」
- (2) 工事監理者の承認を必要とするもの
 - 製作工場 ■ 製作要領書 ■ 工作図 ■ 施工計画書
 - 認定または登録工場 (大臣認定 Mグレード以上)
 - 材料規格証明書または試験成績書
 - 鋼材 ■ 高力ボルト ■ 特殊ボルト □ 頭付スタッド ■ 社内検査表
- (3) 工事監理者が行う検査項目
 - (■ 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
 - 現寸検査 ■ 組立・開先検査 ■ 製品検査 ■ 建方検査
- (4) 接合部の溶接は下記によること
 - 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロ
 - 日本建築学会「溶接工作規準、同解説 I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」
 - 日本建築学会「鉄骨工事技術指針 工事現場施行編」

検査箇所	検査方法	検査率は検査数			備考
		社内	第三者	工事監理者	
■ 完全溶込み溶接部 (突合せ溶接)	外観検査 (※)	100% 個	100% 個	% 個	※平成12年建設省告示第1464号第二号による (目視及び計測)
	超音波探傷試験	100% 個	100% 個	% 個	
	内質検査 (注)	% 個	% 個	% 個	
■ その他の溶接部	マクロ試験・その他	個	個	個	
	外観検査 (※)	100% 個	100% 個	% 個	

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

- 注1) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと。
- 注2) 知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること
 - 内質検査 □ 硬さ試験 □ 示温塗料塗布
- 高力ボルトの検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)
 - 軸力導入試験 □ 要 □ 否 高力ボルトすべり係数試験 □ 要 □ 否
 - 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共回り等の異常がないことを確認する。
 - トルシア形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。

- (6) 防錆塗装
 - 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、■ JIS K5674 □ JIS K5625を使用して、4つ星2回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
 - 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は急に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

- (7) 耐火被覆の材料
 -

7. 設備関係

- 令第129条の2の4の事項
 - ・ 建築物に設ける建築設備にあつては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
 - 建築設備 (昇降機を除く)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食腐朽の恐れがないものとする。
 - 屋上から突出する水櫃、煙突、冷却塔その他これらに類するもの (以下「屋上水櫃等」という) は、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
 - 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造・石造・コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支柱を設けたものを除き、90 cm以下とする。
 - 煙突が屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートの被り厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
 - 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備 (給湯設備*を除く。) は、
 - 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
 - 建築物の部分貫通して配管する場合、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
 - 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合は、伸縮継手又は可換継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
 - 管を支持し、又は固定する場合は、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
 - 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上水櫃等にあつては、平成12年建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。
 - 給湯設備*は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15 kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。
 - * 「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水櫃等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの者の承認を得ること。

- 8. その他
 - 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
 - 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
 - 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
 - その他の特記外は、国土交通省大臣官房官庁 営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) 平成28年版」による。

伊南行政組合

工事名	有害物等一時保管倉庫建設工事	年月日	H29・10・23	検印欄
図面名称	構造設計特記仕様	図面番号	16	

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

■印を適用する。

1. 一般事項

- 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- 凡例
 - d: 異形棒鋼の呼び名に用いた数値(丸鋼では径) D: 部材の成 R: 直径
 - @: 間隔 r: 半径 CL: 中心線 ℓ: 部材間の内法距離 h: 部材間の内法高さ
 - ST: あばら筋 HOOP: 帯筋 S. HOOP: 補強帯筋 φ: 直径

(3) 鉄筋の表示記号

鉄筋の表示記号は下表による

記号	○	×	◇	⊙	⊗	⊕	⊖	⊗
異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
丸鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	—	—

○フックのない場合
○フックのある場合
○本数に差がある場合
○圧接継手表示

2. 鉄筋加工、かぶり

- 鉄筋は、設計図面に指定された寸法及び形状に合わせ、常温で正しく加工する。
- 有害な曲がり、ひび割れ、ささくれなどの損傷のある鉄筋を使用してはならない。
- バーンコイルの鉄筋は、直線器にかけて使用する。
- 鉄筋の切断は、シャークッター又はのこぎりに行う。但し、やむを得ない場合は、工事監理者の承認を受けて、ガス切断とする事ができる。
- 鉄筋には、点付け溶接、アークストライク等を行ってはならない。但し、工事監理者の承認を受けて、鉄筋を余熱して溶接する場合は、点付け溶接とする事ができる。
- 鉄筋の溶接は、アーク溶接とし、溶接工は工事に相応した技量を有する者とする。

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(*4d以上)	8d以上(*4d以上)

折曲げ角度90°は「スラフ」筋・壁筋の末端部又は「スラフ」と同時に打込む「T形及びL形梁のキップ」にのみ用いる。

折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A-SD295B-SD345のD16以下は3d以上、D19以上は4d以上。
注) *片持スラフ上端筋先端の場合

(2) 鉄筋中間部の折曲げ形状 (鉄筋折曲げ角度90°以下)

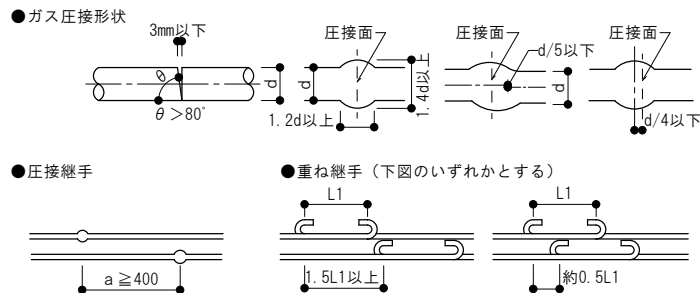
図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235, SD295A, SD295B, SD345	16φ D16以下 19φ D19以上	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235, SD295A, SD295B, SD345	16φ D16以下 19φ-25φ D19-D25 28φ-32φ D29-D38	6d以上 8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm ²)	定着長さ		特別の定着および重ね継手の長さ (L1)
		一般 (L2)	下端筋 (L3)	
□SR235	□21 □24 □27	35dフック付	25dフック付	15cmフック付
	□16 □18	45dフック付	35dフック付	45dフック付
■SD295A □SD295B ■SD345	■21 □24 □27	35dまたは25dフック付	25dまたは15dフック付	10dかつ30dフック付
	□15 □18	40dまたは30dフック付	45dまたは35dフック付	45dまたは35dフック付

注) 柱に取付く梁主筋の定着長さは、上表かつ40d以上とする。

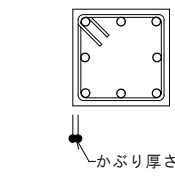
- 末端のフックは、定着及び重ね継手の長さに含まない。
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする。
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない。



(4) かぶり厚さ(単位:cm)

ひび割れ誘発目地部など鉄筋のかぶり厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。

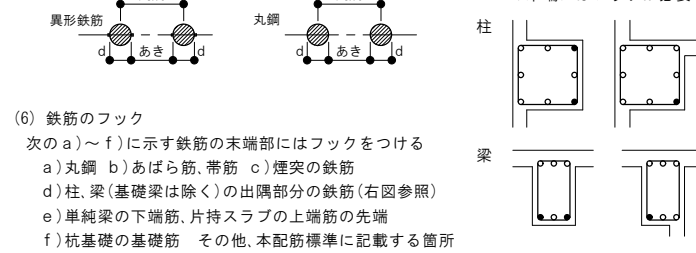
部位	設計かぶり厚さ(mm)		最小かぶり厚さ(mm)	
	屋根スラフ 床スラフ 非耐力壁	屋内	30	30[20]
土に接しない部分	柱	屋内	40	30
	梁 耐力壁	屋外	50-(2)	40-(1)[30]
土に接する部分	柱・床スラフ・耐力壁	屋内	50-(3)	40
	基礎 擁壁	基礎	70	60-(4)



- 「注」(1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。
(2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
(3) コンクリートの品質及び施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとする事ができる。
(4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
(5) [] 内は仕上げがある場合。
(6) 打直し仕上げに対しては、10mm以上打増しする事。

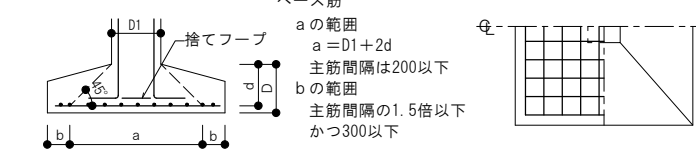
(5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値の1.5d以上粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mm以上

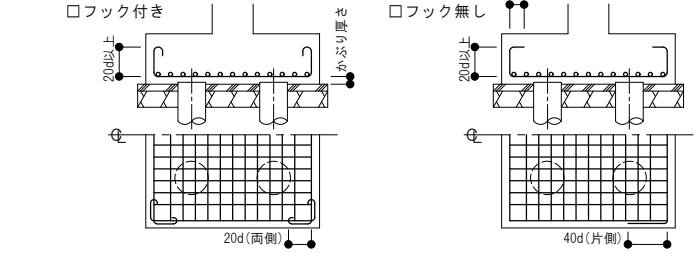


3. 基礎

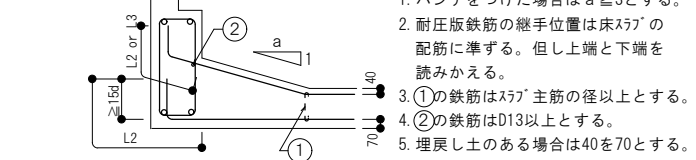
(1) 直接基礎



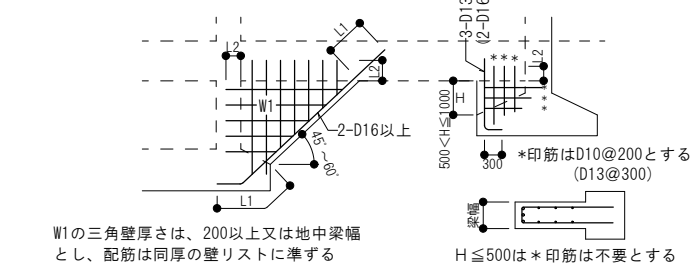
(2) 杭基礎



(3) べた基礎

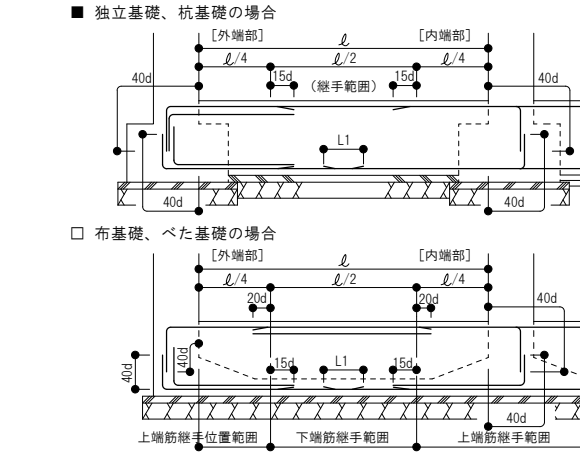


(4) 基礎接合部の補強

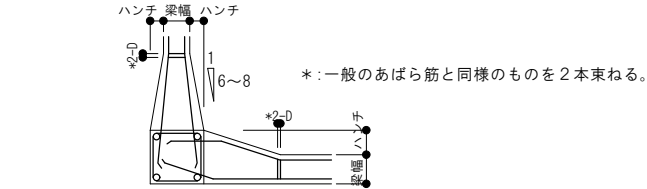


4. 地中梁

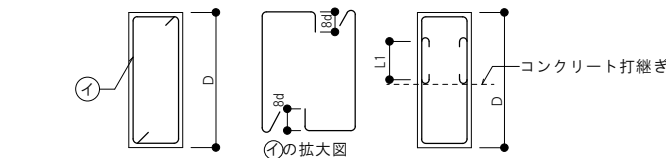
(1) 定着、継手



(2) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

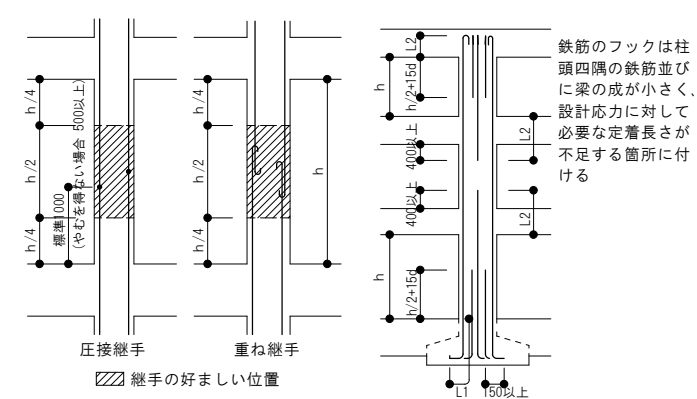


(3) せいの高い梁のあばら筋加工要領

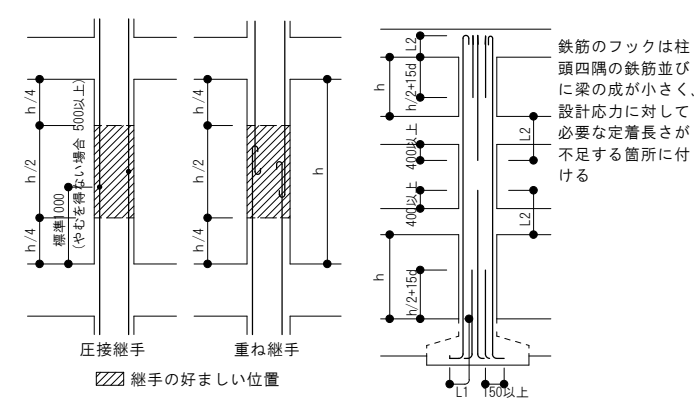


5. 柱 (基礎柱脚部分)

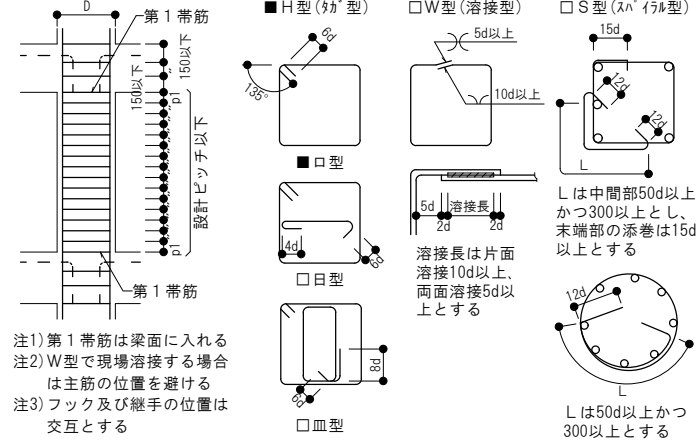
(1) 柱主筋の継手



(2) 柱主筋の定着

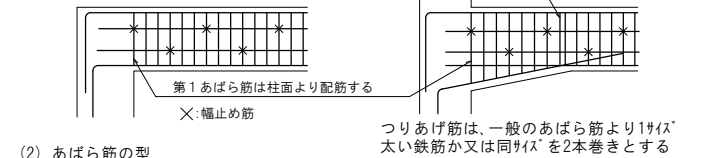


(3) 帯筋

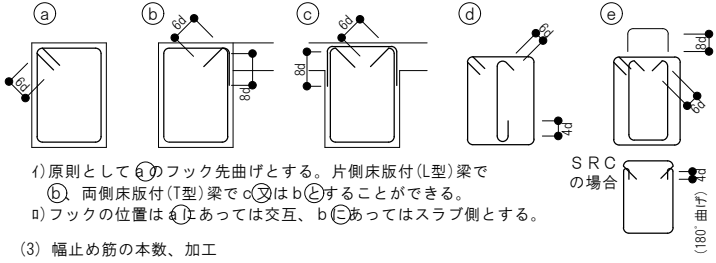


6. 梁のあばら筋、腹筋

(1) あばら筋、腹筋、幅止めの配置



(2) あばら筋の型

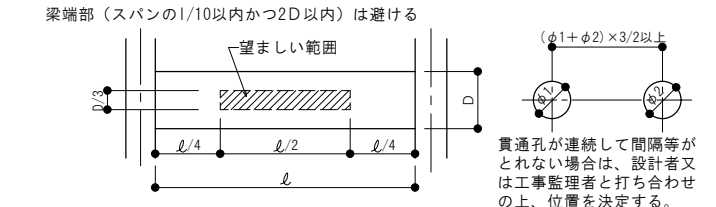


(3) 幅止め筋の本数、加工

腹筋	D < 600	不要
	600 ≤ D < 900	2-D10(9φ) 1段
	900 ≤ D < 1200	4-D10(9φ) 2段
	1200 ≤ D	D10(9φ) @300以内
幅止め筋	D10(9φ)	@1000以内で割り付ける
受筋、吊筋	D10(9φ)	@1000以内で割り付ける
壁梁の腹筋	2-D13	@300以内で割り付ける

7. 梁貫通孔補強

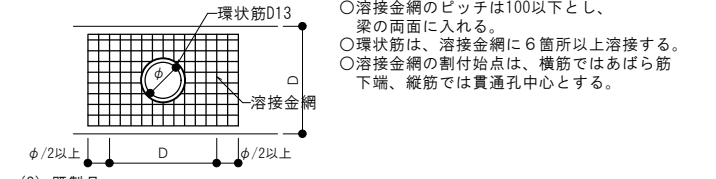
(1) 設置可能範囲



(2) 鉄筋標準配筋 但し φ ≤ D/3とする

<p>□ a) 80 < φ ≤ 100 折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13 @100</p>	<p>□ b) 100 < φ ≤ 150 折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13 @100 横筋 2-(2-D13)</p>	<p>□ c) 150 < φ ≤ 250 折筋 4-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13 @100 横筋 2-(2-D13) 上下縦筋 ST 2-D13</p>
<p>□ d) φ > 250 折筋 4-(2-D16) 縦筋 ST 2-D13 @100 横筋 2-(2-D13) 上下縦筋 ST 2-D13</p>	<p>(注1) 梁幅が400mmを超える場合、各補強筋は次の通り読み替えて使用する。 ・2-D13 ----> 3-D13 ・2-D16 ----> 3-D16</p> <p>(注2) 孔補強の有効範囲と定着長さの取り方は左図の通りとする。(縦筋補強範囲はa)には適用しない)</p> <p>(注3) ※部分については計算で確認された場合は左記の位置、寸法によらずに良い。</p> <p>(注4) 孔が円形でない場合は、孔の外接円を用いる。</p>	

[溶接金網を用いる場合]



(3) 既製品

- 使用するときは参考図により、資料等を提出し工事監理者の承認を受ける。
- リング型 □パイプ型 □金網型 □プレート型

伊南行政組合

工事名 有害物等一時保管倉庫建設工事

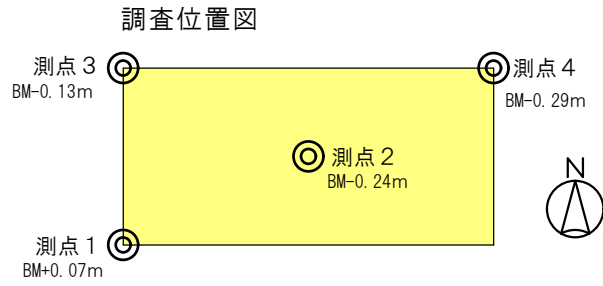
図面名称 鉄筋コンクリート構造配筋標準図

年月日 H29.10.23

図面番号 17

検印欄

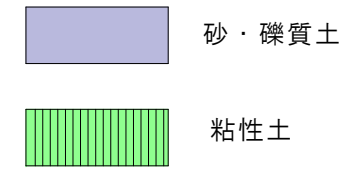
スウェーデン式サウンディング試験
地盤調査結果



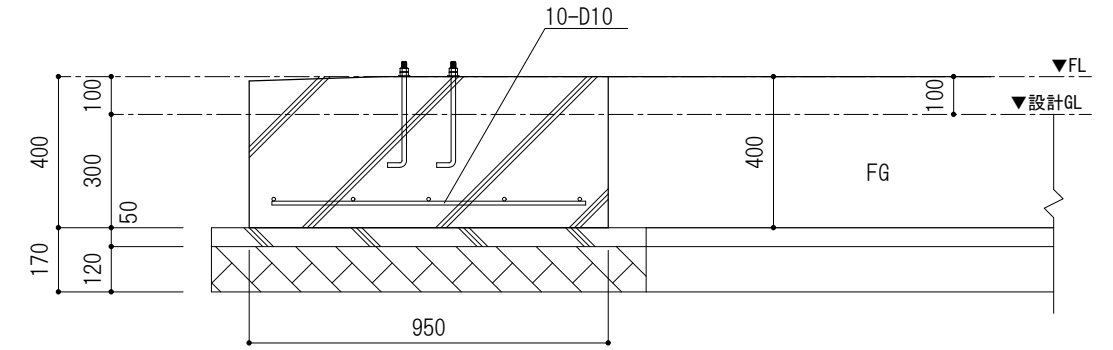
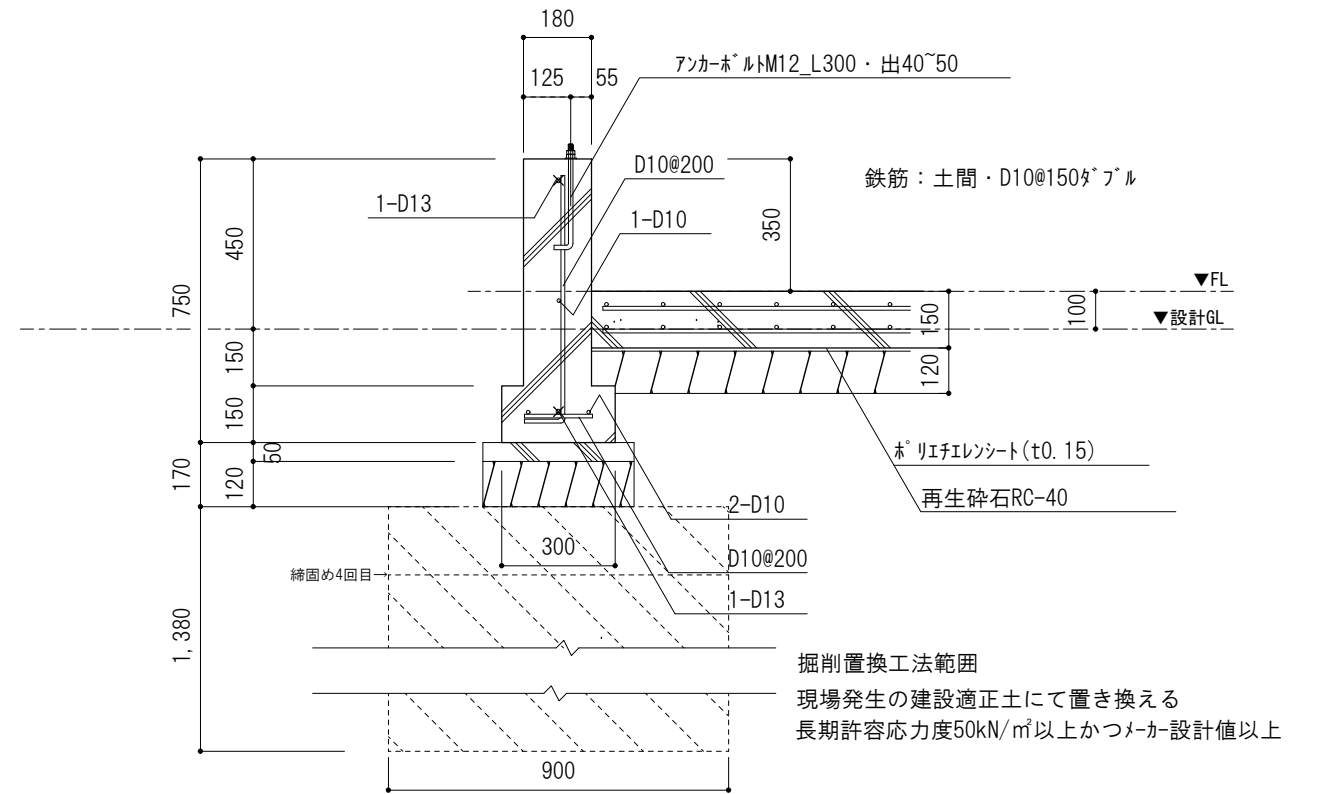
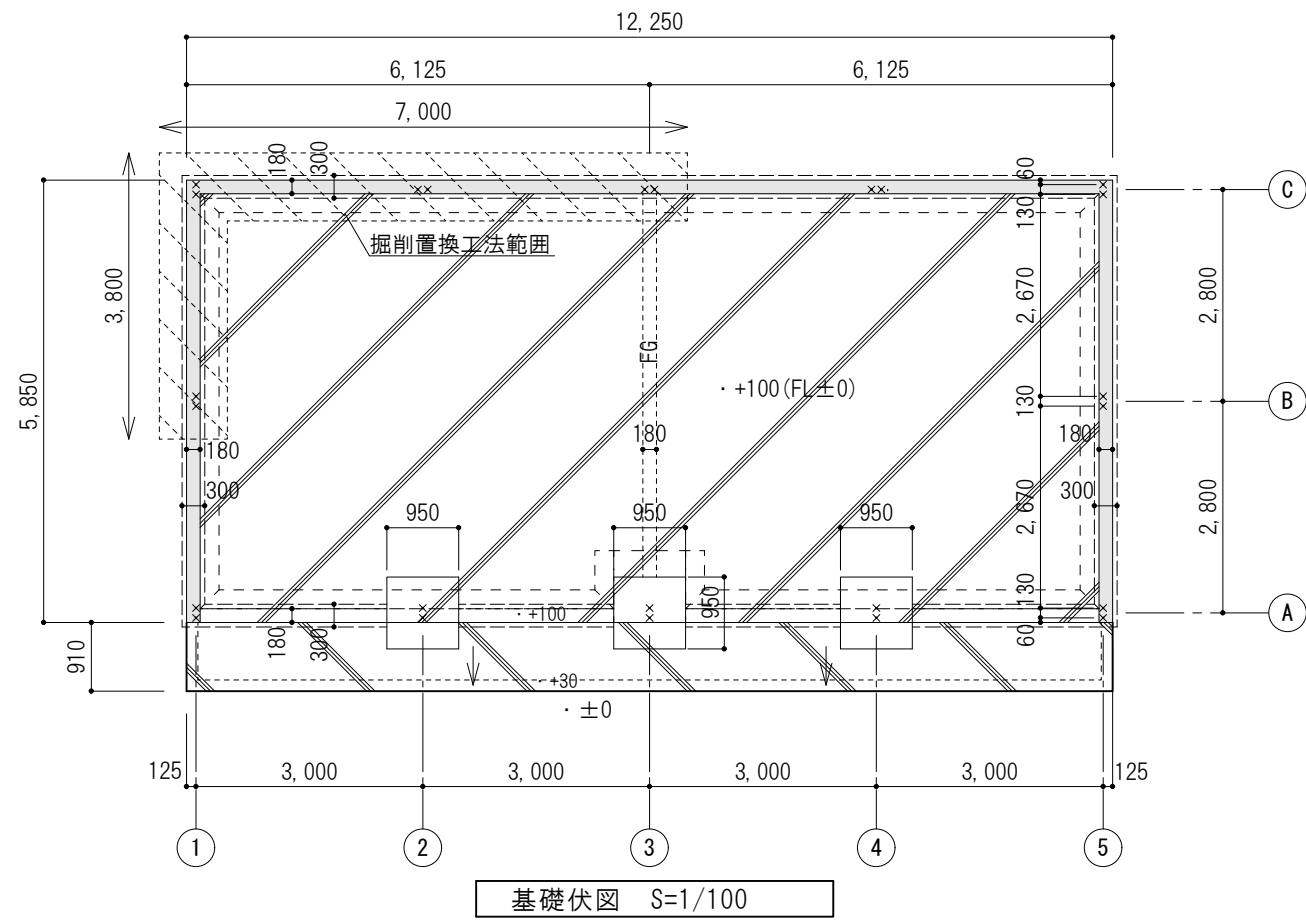
高さ等に係る基本事項

高さ区分	BMよりの高さ	標高	備考
設計基準高さ	BM±0	617.15m	
測点地盤高さ	+0.07~-0.29(m)	616.91~616.86(m)	
現況平均地盤面高さ	+0.10m	616.25m	+0.30~-0.29(m)
造成地盤面高さ	-0.50m	616.65m	設計G.L
基礎の底盤下高さ	-0.80m	616.35m	凍結深度30cm

凡例

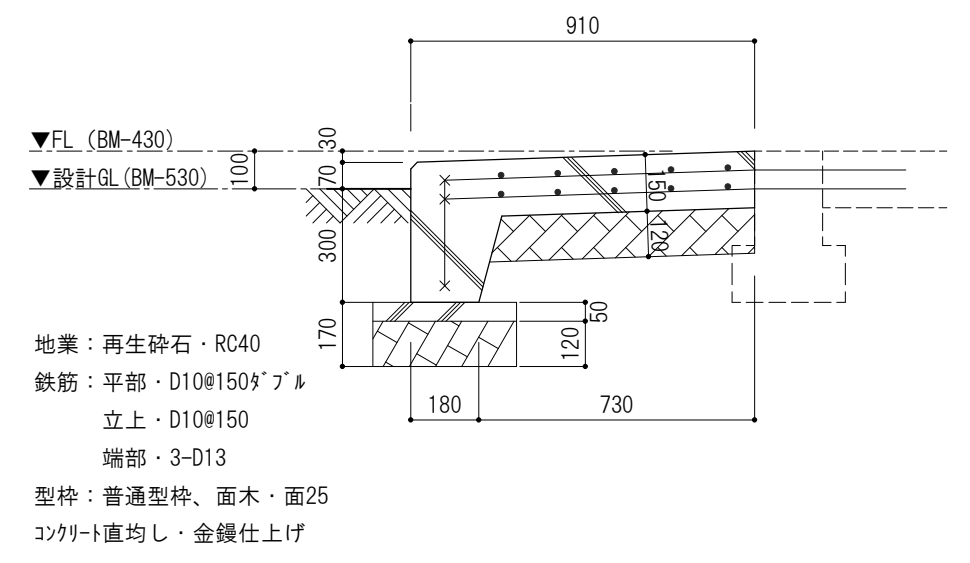


測点	測点 1				測点 2				測点 3				測点 4				備考
	測点地盤高さ	標高	調査深度	基礎底盤下の長期許容応力度	測点地盤高さ	標高	調査深度	基礎底盤下の長期許容応力度	測点地盤高さ	標高	調査深度	基礎底盤下の長期許容応力度	測点地盤高さ	標高	調査深度	基礎底盤下の長期許容応力度	
	BM+0.07m	617.22m	1.69m	122(kN/m ²)	BM-0.24m	616.91m	0.73m	126(kN/m ²)	BM-0.13m	617.02m	5.72m	91(kN/m ²)	BM-0.29m	616.86m	1.97m	60(kN/m ²)	
	42(kN/m ²)				58(kN/m ²)				32(kN/m ²)				60(kN/m ²)				
	▼測点高	▼測点高	▼測点高	▼測点高	▼測点高	▼測点高	▼測点高	▼測点高	▼測点高	▼測点高	▼測点高	▼測点高	▼測点高	▼測点高	▼測点高	▼測点高	▼測点高
▼現況平均地盤面高さ	1.00	112	9.5		1.00	44	4.9		1.00	36	4.4		1.00	0	0.2		▼現況平均地盤面高さ
▼造成地盤面高さ	1.00	384	12以上		1.00	60	6.0		1.00	120	10.0		0.05	0	0.2		▼造成地盤面高さ
▼基礎の底盤下高さ	1.00	204	12以上		1.00	144	11.6		1.00	96	8.4		1.00	252	12以上		▼基礎の底盤下高さ
BM-1.0m	1.00	48	5.2		1.00	435	12以上		1.00	112	9.5		1.00	96	8.4		BM-1.0m
	1.00	20	4.0						1.00	24	4.2		1.00	48	5.2		
	1.00	363	12以上						1.00	8	3.4		1.00	72	6.8		
BM-2.0m									1.00	32	4.6		1.00	208	12以上		BM-2.0m
									1.00	12	3.6		1.00	216	12以上		
									1.00	12	3.6		1.00	332	12以上		
									1.00	120	10.0						
BM-3.0m									1.00	104	9.0						BM-3.0m
									1.00	24	4.2						
									1.00	52	5.5						
									1.00	20	4.0						
BM-4.0m									1.00	4	3.2						BM-4.0m
									1.00	144	11.6						
									1.00	20	4.0						
									1.00	36	4.8						
BM-5.0m									1.00	32	4.6						BM-5.0m
									1.00	56	5.8						
									1.00	48	5.2						
									1.00	64	6.3						
BM-6.0m									1.00	277	12以上						BM-6.0m



基礎詳細図 S=1/20

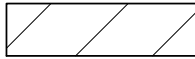


符 号	FG
B * D	180 * 400
上 端 筋	1 - D13
下 端 筋	1 - D13
S T P	—
備 考	腹筋 ; 1-D10

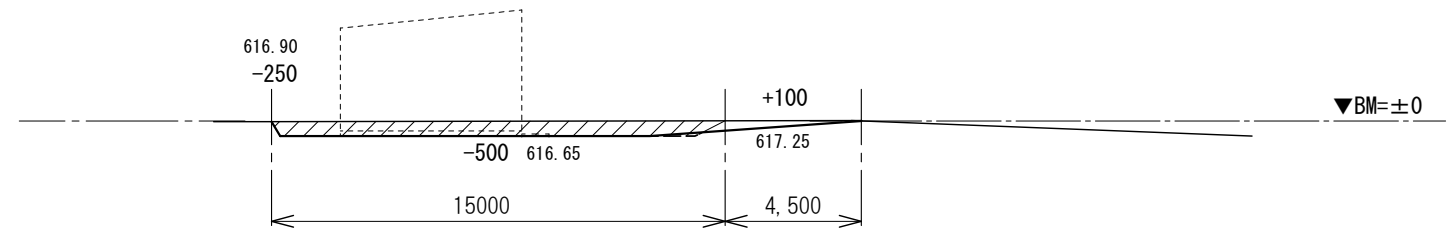


断面詳細図 (犬走) S=1/20

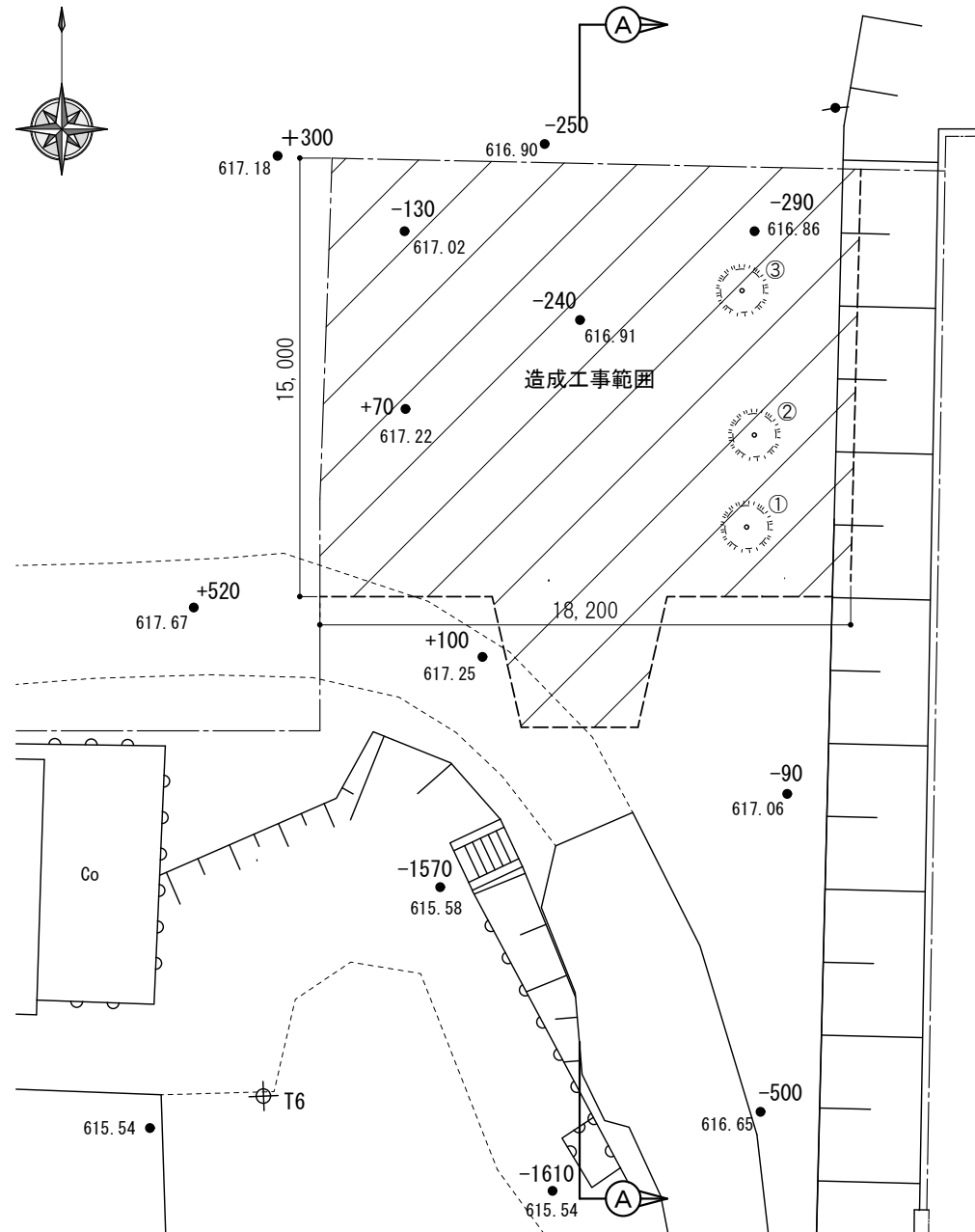
1. 水切板 t=0.5 	2. ベースプレート t=6.0 	3. 柱 t=2.3 	4. 土台取付金具 t=1.6 	5. 土台 t=1.2 	6. 桁後 t=2.3 	7. 桁前 t=2.3 	8. プレートA t=2.3 	9. プレートB t=3.2 	10. 梁左右 t=2.3
11. コーナー金具 t=2.3 		12. 梁中 t=2.3 	13. 母屋 T=2.3 	14. 小梁 t=2.3 	15. 上胴縁 t=1.6 	16. 化粧柱 t=2.3 後左右 203, 24, 263 後中 24, 160 中左右 24, 280 前左右 181, 140, 23, 263 前中 116, 113, 12.5, 12.5			
17. 桁後幕板 t=0.1 	18. 梁左右幕板 t=0.7 	19. 屋根 t=0.8 	20. 妻板左右 t=0.7 		21. 鼻隠し前・後 t=0.7 		22. 壁パネル t=0.5 		
23. 胴縁 t=1.6 	24. ブレース 鉛直ブレース M12、水平ブレース M12 		25. シャッター 水切板 76.5, 60 スラット t=0.5 15.3, 70		26. シャッターカバー t=1.0 	27. シャッターレール t=1.0、1.6 		28. 移動柱 t=1.0、1.6 	29. 豪雪柱 t=2.3

凡例（造成等）

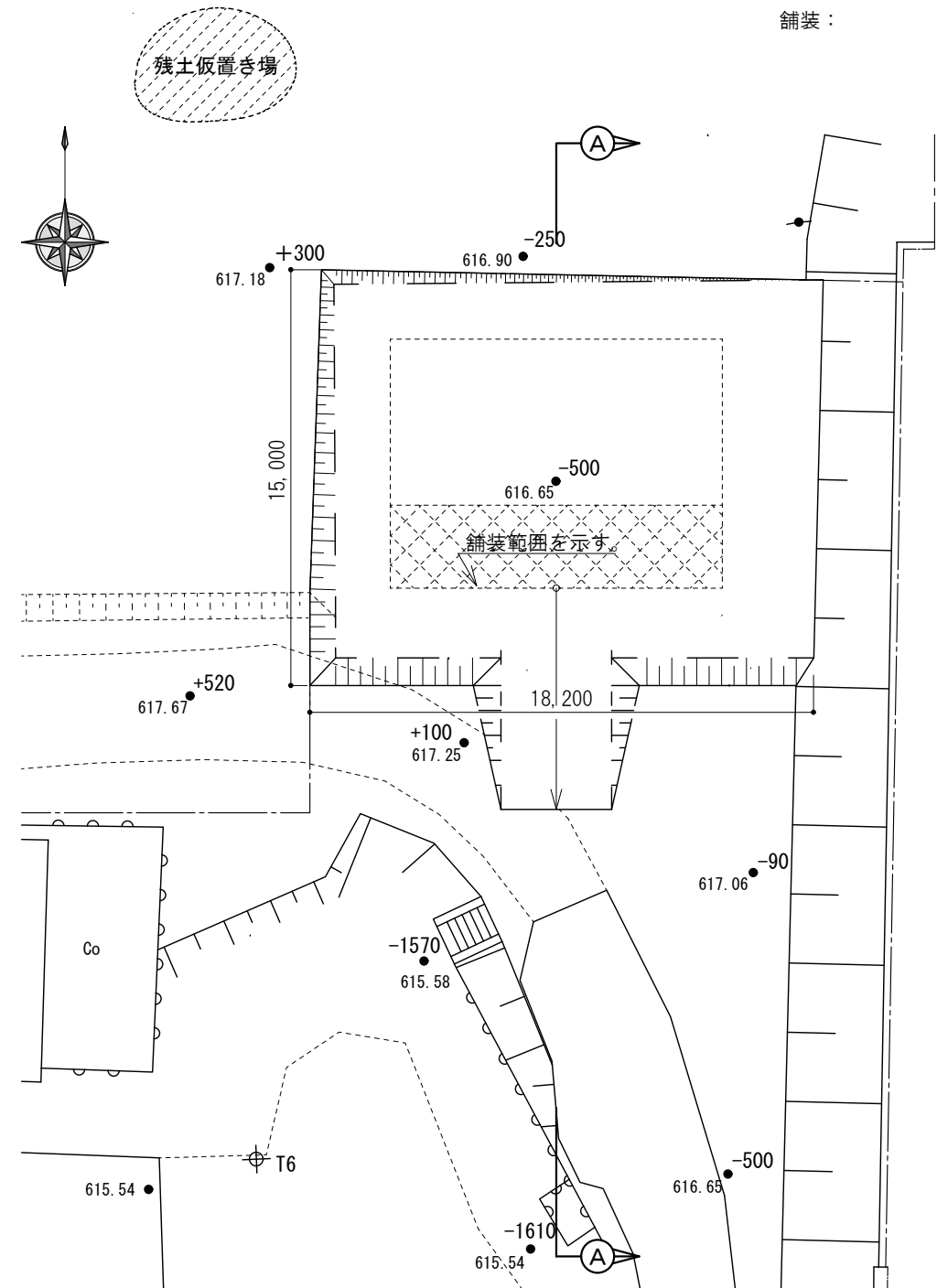
	造成範囲を示す						
	残土仮置き場を示す	※施工計画書により監督員の承諾を受ける事。					
地盤面高さ	BM：(DL 617.15) = ±0						
	立木撤去	※発生材は構内の監督員が指定する位置に、運搬可能なサイズに切断し集積する。					
①	サクラ	高木	55cm	27cm	3	4.5m	伐採・伐根・切断・集積(構内)
②	カエデ	高木	60cm	36cm	4	4.5m	伐採・伐根・切断・集積(構内)
③	サクラ	高木	75cm	30cm	6	5.0m	伐採・伐根・切断・集積(構内)



造成図（A断面図） S=1/250



造成図（現況平面図） S=1/250



造成図（平面図） S=1/250

※乗入れ坂路は、現況擦り合わせとし、使用に支障が無い形状に協議の上調整する事。